IPC-J1-01

〈取扱説明書〉

昭和六十四年神宮館電脳九星暦

高島易断所本部編纂

東京神宮館蔵版

任天堂 ファミリーコンピュータ™

MADE IN JAPAN

東京神宮館

〈発売元〉インダクション・プロデュース株式会社
〒156 東京都渋谷区渋谷3-3-10
〈販売元〉ビクター音楽産業株式会社
©JINGŪKAN-POLARIS Inc.

ファミリーコンピュータ・ファミコンは任天堂の商標です。

平年 昭和六十四年略暦 己巳

皇紀二千六百四十九年
西紀千九百八十九年

大	
一	一日 辛酉
三	一日 庚申
五	一日 辛酉
七	一日 壬戌
八	一日 癸巳
十	一日 甲午
十二	一日 乙未

小	
二	一日 壬辰
四	一日 辛卯
六	一日 壬辰
九	一日 甲子
十一	一日 乙丑

国民の祝日

元日	一月一日
成人の日	一月十五日
建国記念の日	二月十一日
春分の日	三月廿一日
天皇誕生日	四月廿九日
憲法記念日	五月三日
こどもの日	五月五日
敬老の日	九月十五日
秋分の日	九月廿三日
体育の日	十月十日
文化の日	十一月三日
勤労感謝の日	十一月廿三日

民俗行事

初午	二月三日
旧元日	二月六日
ひな祭	三月三日
花まつり	四月八日
メーデー	五月一日
端午	五月五日
七夕	七月七日
ぼん	七月十五日
十五夜	九月十四日
十三夜	十月十二日
七五三	十一月十五日

甲子
一月四日、三月五日、五月四日、七月三日、九月一日、十月卅一日、十二月卅日

八せん
二月廿一日、四月廿二日、六月廿一日、八月廿日、十月十九日、十二月十八日

庚申
三月一日、四月卅日、六月廿九日、八月廿八日、十月廿七日、十二月廿六日

土用
一月十七日、四月十七日、七月廿日、十月廿日

十方ぐれ
一月廿四日、三月廿五日、五月廿四日、七月廿三日、九月廿一日、十一月廿日

己巳
一月九日、三月十日、五月九日、七月八日、九月六日、十一月五日

彼岸
三月十八日、九月廿日

社日
三月十九日、九月廿五日

天一天上
二月二日、四月三日、六月二日、八月一日、九月卅日、十一月廿九日

三伏日
初伏 七月十九日
中伏 七月廿九日
末伏 八月八日

二十四節気雑節

小寒	一月五日
大寒	一月廿日
節分	二月三日
立春	二月四日
雨水	二月十九日
啓蟄	三月五日
春分	三月廿一日
清明	四月五日
穀雨	四月廿日
八十八夜	五月二日
立夏	五月五日
小満	五月廿一日
芒種	六月六日
入梅	六月十一日
夏至	六月廿一日
半夏生	七月二日
小暑	七月七日
大暑	七月廿三日
立秋	八月七日
処暑	八月廿三日
二百十日	九月一日
白露	九月八日
秋分	九月廿三日
寒露	十月八日
霜降	十月廿三日
立冬	十一月七日
小雪	十一月廿二日
大雪	十二月七日
冬至	十二月廿二日

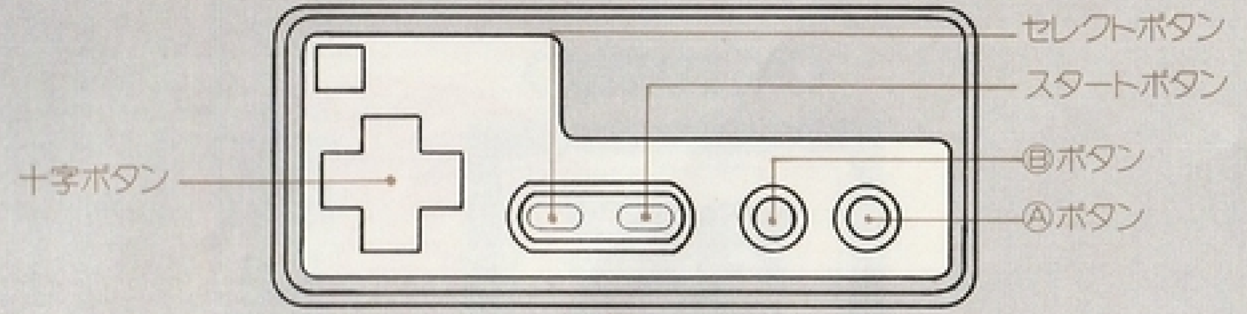
日曜表

一月	一日、八日、十五日、廿二日、廿九日
二月	五日、十二日、十九日、廿六日
三月	五日、十二日、十九日、廿六日
四月	二日、九日、十六日、廿三日、卅日
五月	七日、十四日、廿一日、廿八日
六月	四日、十一日、十八日、廿五日
七月	二日、九日、十六日、廿三日、卅日
八月	六日、十三日、廿日、廿七日
九月	三日、十日、十七日、廿四日
十月	一日、八日、十五日、廿二日、廿九日
十一月	五日、十二日、十九日、廿六日
十二月	三日、十日、十七日、廿四日、卅一日

天しゃ
一月四日、三月十九日、六月三日、八月二日、八月十六日、十月十五日、十二月卅日

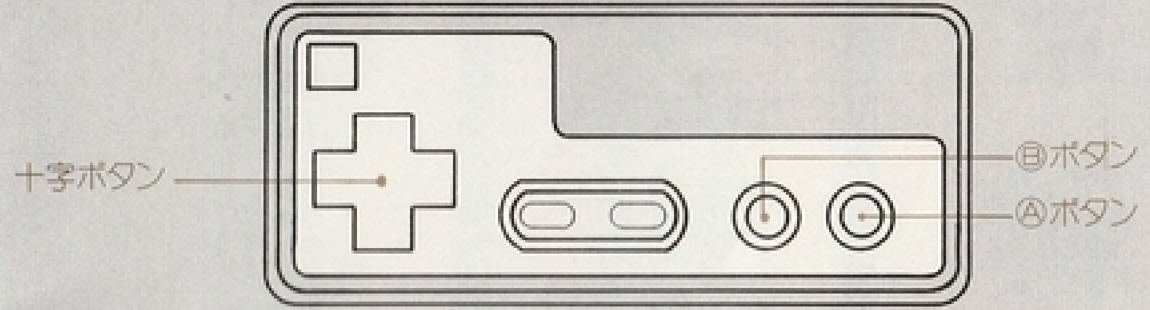
〈コントローラー各部の名称と操作の説明〉

A、生年月日インプットのとき



十字ボタン…下の段のカーソル移動
Ⓐボタン…選択決定
Ⓑボタン…キャンセル
セレクトボタン…上の段のカーソル1文字キャンセル
スタートボタン…実行（最初のタイトル画面のとき2度押すとプロローグはとばします）

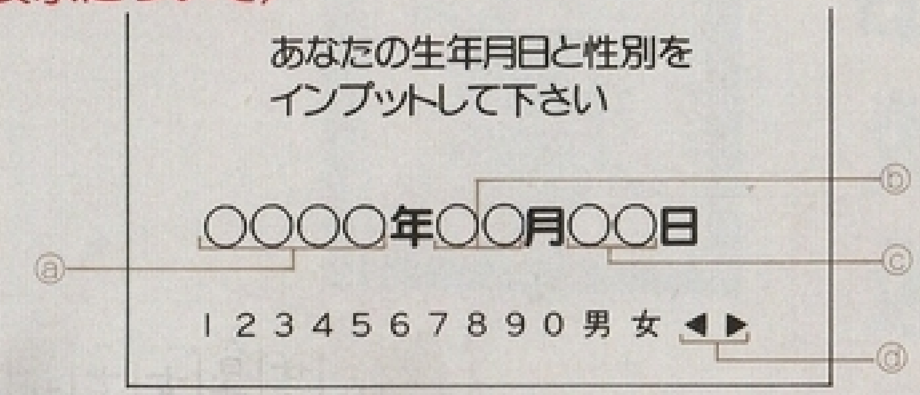
B、メニュー選択のとき



十字ボタン…項目の選択
Ⓐボタン…選択決定
Ⓑボタン…前の画面にもどる

※なお日運の解説画面のとき十字ボタン（左右）で、前後の日付の運勢を見ることができます。

〈画面の表示について〉



ⓐ1900～1999年までです。
ⓑカーソルが○○月の位置のとき、2以上の数字を選択すると、自動的に2月～としてインプットされます。
ⓒカーソルが○○日の位置のとき、4以上の数字を選択すると、自動的に4日～としてインプットされます。
ⓓ上段のカーソルを移動

☞使用上の注意等は表3をご覧下さい。

太歳神

巳の方

太歳神は木星の精で万物を司る神。この方位に対しての伐木、談判等には凶神となり、移転、造作などにも凶

大将軍

卯の方

この方位は俗に三年ふさがりといい嫁婿取り、伐木、普請、造作、移転など凶。特に旅行には警戒を要する

太陰神

卯の方

太歳神の后（きさき）とされている凶神でその年の陰事を司り、この方位に向かってのお産は忌むべきである

歳刑神

申の方

この凶神は水星の精で刑罰を司り殺伐の気があり、この方位に向かっての種まき始め、動土、伐木などは凶

歳徳神

あきの方

甲の方

歳徳神の方位は一ヵ年の吉方で万事に用いて大吉である初詣でをこの方にすれば家業繁盛の基となる

歳破神

亥の方

この神の巡行する方位は、太歳神と向かい合う方位になるので、移転、旅行、普請動土などには凶方となる

歳殺神

辰の方

金星の精で殺気はげしく、この方位に対しての嫁婿取り、旅行、移転、金策などには凶兆ありとされている

黄幡神

丑の方

日月の光を食する羅睺星の精といわれる。従ってこの方位に対しての普請動土始めなどには凶とされている

豹尾神

未の方

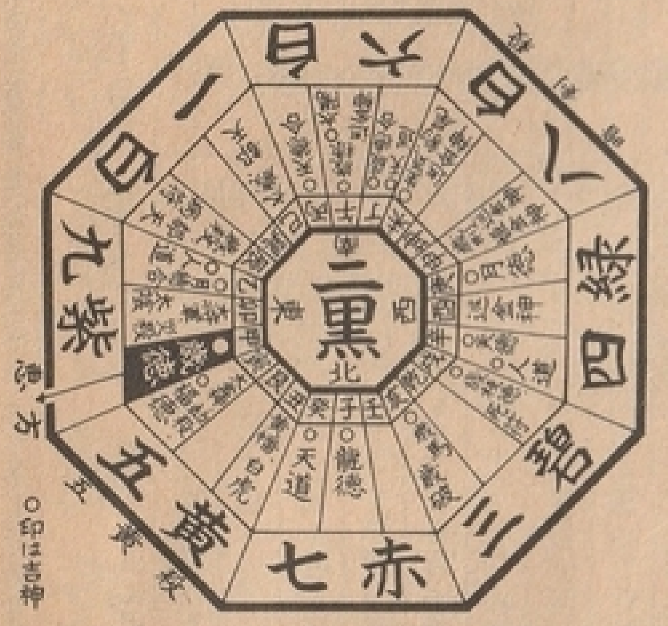
忿怒の相をそなえている計都星の精といわれ、この方位から牛馬その他畜類を求めることは凶とされている

昭和六十四年各人の吉方位

○一白水星の人	壬子癸	丙午丁	庚酉辛
○二黒土星の人	壬子癸	甲卯乙	丙午丁
○三碧木星の人	甲卯乙	庚酉辛	
○四緑木星の人	辰巽巳	戌乾	
○五黄土星の人	壬子癸	甲卯乙	丙午丁
○六白金星の人	辰巽巳		
○七赤金星の人	辰巽巳		
○八白土星の人	壬子癸	甲卯乙	丙午丁
○九紫火星の人	戌乾		

方位吉凶図

昭和六十四年己巳二黒



金神の方位

この方位は普請、動土、移転、伐木などには凶ですが、九紫が巡るか、天道、天徳、月徳の吉神が巡行している月、また巡金神遊行日の間は差支えない。

巡金神遊行日

○二月立春より四月春の土用入り前日までは甲寅日より戊午日までの五日間南方に遊行する○五月立夏より七月夏の土用入り前日までは丙寅日より庚午日までの五日間西方に遊行する○八月立秋より十月秋の土用入り前日までは庚寅日より甲午日までの五日間北方に遊行する○十一月立冬より翌年一月冬の土用入り前日までは壬寅日より丙午日までの五日間東方に遊行する○四季共に土用中は戊寅日より壬午日までの五日間丑・辰・未・戌方に遊行する

大金神 寅の方

姫金神 申の方

巡金神 午・未 申・酉の方

土公神

土公神は土の守護神ですから、土公神が回座する方位の土を犯すことは、忌み慎むべきこととされている。なお、家にあっては春・夏・秋・冬の四季により左のようにその司る場所を異にしており、土公神在位期間中に各々の場所を犯すと障りがあるとされる。

◎春は竈 従ってかまどの築造、改造などは忌み避けるがよい。

◎夏は門 従って門戸の新築、改造などは忌み避けるほうがよい。

◎秋は井 従って井戸掘り、井戸さらいなどは避けるほうがよい。

◎冬は庭 従って庭造り、動土、樹木の植え替えは避けるがよい。

六輝の吉凶

先勝（せんかち） 急用や訴訟などに用いて吉の日。但し午後は凶。旧暦一月朔日、七月朔日に配される

友引（ともびき） この日は正午のみ凶。朝夕は祝い事に用いて吉。旧暦二月朔日、八月朔日に配される

先負（せんまけ） この日は諸事控え目に静観がよい。午後は大吉。旧暦三月朔日、九月朔日に配される

仏滅（ぶつめつ） この日は何事をするのも忌み慎むほうがよい日。旧暦四月朔日、十月朔日に配される

大安（たいあん） この日は陰陽道で何事をするのにも上吉の日。旧暦五月朔日、十一月朔日に配される

赤口（じゃっこう） 新規事開始その他何事をなすのも忌むべき日。旧暦六月朔日、十二月朔日に配される

中段の吉凶

○たつ よろず大吉の日。但し動土、蔵開きなど凶

○のぞく 百凶を除く日。医薬ごと、種まき始めなど吉

○みつ 万象万物満溢の日。祝い事、建築、移転等吉

○たいら 婚姻等の祝い事、相談事、柱立てなどに吉

○さだん 建築、移転、新規事開始、婚姻、種まきなど吉

○とる 買入れ、取入れなど、よろず入手するに吉

○やぶる 契約事、相談、物事の取り決めなどには凶

○あやぶ 何事も控え目に慎む日で、とくに旅行は凶

○なる 新規事の開始に吉。但し訴訟、談判など凶

○おさん 五穀収納、商品買入れなど吉、縁談ごと凶

○ひらく 建築、移転、開店、婚姻など喜びごとに吉

○とづ 建墓など吉。棟上げ、婚礼、開店などは凶

注・暦の中段は〝十二直〟ともいわれている

二十八宿の吉凶

宿	吉凶
角(かく)	柱立て、普請造作、嫁婿取りに吉
亢(こう)	牛馬を求めること及び婚姻に吉
氐(てい)	嫁婿取り、普請によく、葬儀に凶
房(ぼう)	家宅の修繕、土地開拓始めに吉
心(しん)	移転、旅行、新事業の開始に吉
尾(び)	新規事開始、倉庫、納屋の建築に吉
箕(き)	井戸替え及び新規に掘り始めるに吉
斗(と)	土地の掘り起こしまた倉庫建築に吉
牛(ぎゅう)	移転、旅行及び金談等すべてに吉
女(じょ)	芸事の学び始め、おひろめなどに吉
虚(きょ)	衣服の着初め、学問始めなどに吉
危(き)	船の修繕、家宅の修理をする等に吉
室(しつ)	普請造作、井戸掘り、婚姻などに吉
壁(へき)	旅行、婚姻、新規事開始など吉
奎(けい)	開店、文芸開始、樹木植え替え等に吉
婁(ろう)	普請造作及び急ぐことよろし
胃(い)	開店、移転、求職などに用いて吉
昴(ぼう)	神社仏閣に参詣してご利益ある日
畢(ひつ)	普請開始、土地開拓、縁談などに吉
觜(し)	よろづ修め始め、普請始めなどに吉
参(しん)	金談、縁談、旅行移転に用いて吉
井(せい)	開店、おひろめ、井戸掘りなどに吉
鬼(き)	婚礼には凶、他の事にはすべて吉
柳(りゅう)	店舗改造及び庭の造り替えなどに吉
星(せい)	便所の改造、医薬を求めるなどに吉
張(ちょう)	婚礼、神仏参詣、求職などに大吉の日
翼(よく)	家屋増築、田畑耕作始めなどに吉
軫(しん)	分家、養子迎え、隠居するなどに大吉

選日の説明

●一粒万倍日(いちりゅうまんばいび)
一粒の種が万倍にふえる日とされ、古来から事始めに用いられ、特に商売始め、開店などに吉日とされています。反面、ふえて多くなる意味から、人から物を借りたり借金するのには不向きの日です。

●不成就日(ふじょうじゅび)
障りがあって物事が成就せず、悪結果を招く凶日とされています。特に結婚、開店、柱立て、命名、移転、契約ごとなどには不向きで、この日に急に何事かを思い立ったり、願いごとをすることすらも避けるべきだとされています。

●八　専(はっせん)
八専とは陰暦壬子の日から癸亥の日までの十二日間のうち、壬子、甲寅、乙卯、丁巳、己未、庚申、辛酉、発亥の八日のことで、一年に六回あります。この日は法事・供養などの仏事、破懐的な造作、嫁取りなどには凶日とされています。

●三隣亡(さんりんぼう)
昔から普請始め、柱立て、棟上げなどには大凶とされ、もしもこの日を用いて施行した家屋が後日災禍が起きると、近所隣りをも亡ぼすとされています。

●天一天上(てんいちてんじょう)
天一天上とは、人事の吉凶禍福を司る天一神が天上する日です。天一神は癸巳の日に天上するので、この日から戊申の日までの十六日間は、天一神の障りはないとされています。

●天赦日(てんしゃび)
天赦日とは、干支相生・相剋の中庸を得る大吉日で、天の恩恵により何の障害も起きない日とされ、とくに結婚、開店、事業創立、拡張などに用いて最良の日とされています。

●土　用(どよう)
一年の春・夏・秋・冬にそれぞれの四季の土用があり、その期間は約十八〜九日です。この期間中は、とくに動土、土木工事に着手することは大凶とされています。ただし土用中でも間日(まび)は障りがなく、春は巳、午、酉の日。夏は卯、辰、申の日。秋は未、酉、亥の日。冬は卯、巳、寅の日が間日となります。

●十方暮(じゅっぽうぐれ)
干支相剋の凶日(ただし相剋しない日も含む)で、甲申の日から入って癸巳の日までの十日間です。この日は労して功の少ない日とされ、新規事の開始や旅立ちなどにも凶の日とされています。

男女相性の見方・考え方

男女の相性は、九星の五行の相性、相剋を基に吉・凶の関係が現わされます。

即ち木・火・土・金・水の五行の隣り合った関係が吉であります。しかし、十二支にも吉・凶の関係があります。これは五行の相性・相剋の関係と多少異なっていますが、それぞれ根拠のあることですので、軽視はできません。

九星から見ても、十二支から見ても相性であれば申し分ありませんが、九星で相性し十二支で相剋の場合やその逆の場合には無条件の相性と見られません。

この他に十干の意も無視できませんので、九星・十二支を以て一応の規準と考え、一生の禍福を定める結婚などは専門家の鑑定にまつべきです。

十二支による男女相性

△印は小吉

○子年生＝申・辰・丑年の人が相性吉
○丑年生＝巳・酉・子年の人が相性吉
○寅年生＝午・戌・△亥年の人が相性吉
○卯年生＝亥・未・戌年の人が相性吉
○辰年生＝申・子・酉年の人が相性吉
○巳年生＝酉・丑年の人が相性吉
○午年生＝寅・戌・未年の人が相性吉
○未年生＝亥・卯・午年の人が相性吉
○申年生＝子・辰年の人が相性吉
○酉年生＝巳・丑・辰年の人が相性吉
○戌年生＝寅・午・卯年の人が相性吉
○亥年生＝卯・未・△寅年の人が相性吉

九星による男女の相性

一白生	六白、七赤、三碧、四緑、一白の人が吉
二黒生	九紫、六白、七赤、五黄、八白、二黒の人が吉。
三碧生	一白、九紫、四緑、三碧の人が吉。
四緑生	一白、九紫、三碧、四緑の人が吉。
五黄生	九紫、六白、七赤、二黒、八白、五黄の人が吉。
六白生	二黒、五黄、八白、一白、七赤、六白の人が吉。
七赤生	二黒、五黄、八白、一白、六白、七赤の人が吉。
八白生	九紫、七赤、六白、二黒、五黄、八白の人が吉。
九紫生	四緑、三碧、二黒、五黄、八白、九紫の人が吉。

見合・結納の吉日

古めかしく縁起をかつぐわけではありませんが、お見合い、結納の日取りについては、やはり暦上の吉日を基にして、先方の家風も十分に考慮のうえ、お互い(両家)にとってのよりよい日を選ぶべきです。一般的なしきたりでは、暦上の、なる、みつ、おさんの日や、大安、友引の日がよいとされています。

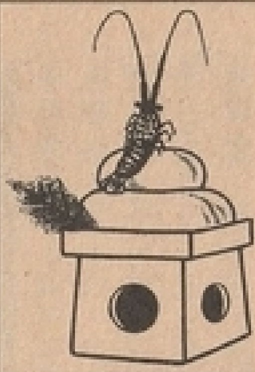
婚礼の吉日

婚礼の日取りは、本来は嫁ぐ人にとって稼ぎ先きの家の方角が吉方となる年・月・日を、気学及び九星術にもとづいて選ぶことが大切です。しかし世間一般的には暦上の、なる、たいら、たつ、さだん、または大安日が選ばれています。

妊娠腹帯の吉日

妊娠腹帯(岩田帯)に良い日は、一般に犬の安産にあやかって戌(いぬ)の日がよいとされていますが、古文書による吉日は、甲子日、甲戌日、乙丑日、丙午日、丙戌日、戊戌日、庚戌日、庚子日、辛酉日、あるいは暦の中段の、なる、みつ、たつの日を良しとしています。

一月



一月大　睦月（むつき）　宿 房

（一月五日小寒の節より月命乙丑三碧木星の月となる。暗剣殺東の方）

一日　日出 六時五一分　日入 一六時三八分　旧 十一月大 十二月小

家事

〔上旬〕神仏詣り・年始回り。日記・家計簿づけの実践励行。正月団らん。来客接待
〔中旬〕年賀状整理と住所録の整備。本年の家計立案。正月用品の後始末・正月着の手入れ。室内換気の注意。水道管の凍結防止
〔下旬〕台所整理。寒げいこ。寒詣り

農事

〔上旬〕本年の経営計画樹立と栽培設計の立案。畜舎の防寒設備・雪害対策。下草刈り
〔中旬〕乾田耕起・床土準備。草木灰製造。麦の中耕・追肥・踏庄・こうぞの刈取り・皮はぎ。甘藷切干し・米こうじ・薪作り
〔下旬〕水田苗代耕起。温床の踏み込み

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	直	宿
一日	日	かのと とり	三碧	◉元日、年賀、初詣で、歳旦祭、修正会　旧戊辰十一月大	24	佛滅	おさん	房
二日	月	みづのえ いぬ	二黒	振替休日、初荷、初夢、書初め、皇居一般参賀	25	大安	ひらく	心
三日	火	みづのと ゐ	一白	福岡筥崎宮玉せせり、初亥、八せん終り、一粒万倍日	26	赤口	とづ	尾
四日	水	きのえ ね	一白	官庁御用始め、九星陽遁始め、初子、甲子、天しゃ、一粒万倍日	27	先勝	たつ	箕
五日	木	きのと うし	二黒	小寒、初水天宮	28	友引	たつ	斗
六日	金	ひのえ とら	三碧	六日年越し、公現祭、東京消防出初式、初寅、不成就日	29	先負	のぞく	牛
七日	土	ひのと う	四緑	七草、人日、太宰府天満宮鬼すべ・うそ替え、初卯、一粒万倍日	30	佛滅	みつ	女
八日	日	つちのえ たつ	五黄	●朔、東京鳥越神社どんど焼、初薬師　旧十二月小	朔	赤口	たいら	虚
九日	月	つちのと み	六白	宵えびす、学校始業、京都西本願寺報恩講（16日まで）、初巳、己巳	2	先勝	さだん	危
十日	火	かのえ うま	七赤	十日えびす、一一〇番の日、初金毘羅、大つち、三りんぼう	3	友引	とる	室
十一日	水	かのと ひつじ	八白	鏡開き、蔵開き	4	先負	やぶる	壁
十二日	木	みづのえ さる	九紫		5	佛滅	あやぶ	奎
十三日	金	みづのと とり	一白	不成就日	6	大安	なる	婁
十四日	土	きのえ いぬ	二黒	◐上弦、十四日年越し、四天王寺どやどや、仙台どんと祭、慈覚大師忌	7	赤口	おさん	胃
十五日	日	きのと ゐ	三碧	◉成人の日、小正月、小豆がゆ、奈良若草山焼き	8	先勝	ひらく	昴
十六日	月	ひのえ ね	四緑	振替休日、やぶ入り、えんま詣り、真宗本派親鸞聖人忌、一粒万倍日	9	友引	とづ	畢
十七日	火	ひのと うし	五黄	土用、秋田三吉神社梵天祭	10	先負	たつ	觜
十八日	水	つちのえ とら	六白	初観音、小つち	11	佛滅	のぞく	参
十九日	木	つちのと う	七赤	一粒万倍日	12	大安	みつ	井
廿日	金	かのえ たつ	八白	大寒、臘日、二十日正月	13	赤口	たいら	鬼
廿一日	土	かのと み	九紫	初大師、川崎身代り不動開山会、不成就日	14	先勝	さだん	柳
廿二日	日	みづのえ うま	一白	○望、黙阿弥忌、三りんぼう	15	友引	とる	星
廿三日	月	みづのと ひつじ	二黒		16	先負	やぶる	張
廿四日	火	きのえ さる	三碧	初地蔵、東京巣鴨とげぬき地蔵尊大祭、十方ぐれ入り	17	佛滅	あやぶ	翼
廿五日	水	きのと とり	四緑	初天神、東京亀戸天神うそ替え、法然上人忌	18	大安	なる	軫
廿六日	木	ひのえ いぬ	五黄	文化財防火デー、道元禅師誕生会、天理教春季大祭	19	赤口	おさん	角
廿七日	金	ひのと ゐ	六白	国旗制定記念日、小田原道了尊大祭	20	先勝	ひらく	亢
廿八日	土	つちのえ ね	七赤	初不動、一粒万倍日	21	友引	とづ	氐
廿九日	日	つちのと うし	八白	不成就日	22	先負	たつ	房
卅日	月	かのえ とら	九紫	◑下弦	23	佛滅	のぞく	心
卅一日	火	かのと う	一白	一粒万倍日	24	大安	みつ	尾

二月

二月平　如月（きさらぎ）　宿 心

（二月四日立春の節より月命丙寅二黒土星の月となる。暗剣殺西南方）

一日　日出 六時四一分　日入 一七時〇八分　旧 十二月小 正月大

家事

〔上旬〕節分の準備・豆まき。押入れ・物置の整理整頓。寒中見舞い。ガスもれ・火の用心
〔中旬〕青色申告書作成の準備。皮革製品の手入れ。好天気時の毛布・ふとん干し
〔下旬〕ひな祭りの用意。お年寄り・幼児の健康注意。余寒見舞い。地域防火演習に参加

農事

〔上旬〕俵・かますなど包装材料の用意。田のあぜ・水路の修理・床締め。なす・とうがらしの温床播種。わら加工。甘藍の植付け
〔中旬〕麦の中耕・追肥。えん豆支柱立て
〔下旬〕トマト・きゅうりの温床播種。麦の土入れ・踏圧。田あぜの雑草焼却。京菜収穫

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	直	宿
一日	水	みづのえ たつ	二黒	永平寺涅槃会摂心、良忍上人忌　旧十二月小	25	赤口	たいら	箕
二日	木	みづのと み	三碧	天一天上	26	先勝	さだん	斗
三日	金	きのえ うま	四緑	節分、豆まき、初午、春日大社万灯籠、伏見稲荷初午祭、三りんぼう	27	友引	とる	牛
四日	土	きのと ひつじ	五黄	立春	28	先負	とる	女
五日	日	ひのえ さる	六白	尾鷲まつり	29	佛滅	やぶる	虚
六日	月	ひのと とり	七赤	●朔、旧元日、出雲大社福神祭、新宮神倉山火祭　旧己巳正月大	朔	先勝	あやぶ	危
七日	火	つちのえ いぬ	八白	北方領土の日	2	友引	なる	室
八日	水	つちのと ゐ	九紫	こと始め、針供養、三りんぼう、不成就日	3	先負	おさん	壁
九日	木	かのえ ね	一白		4	佛滅	ひらく	奎
十日	金	かのと うし	二黒	加賀菅生石部祭、福島羽黒山暁詣り、一粒万倍日	5	大安	とづ	婁
十一日	土	みづのえ とら	三碧	◉建国記念の日、奈良橿原祭	6	赤口	たつ	胃
十二日	日	みづのと う	四緑	旧七草	7	先勝	のぞく	昴
十三日	月	きのえ たつ	五黄	◐上弦、松山椿まつり	8	友引	みつ	畢
十四日	火	きのと み	六白	聖バレンタイン・デー、奈良長谷寺だだ押し	9	先負	たいら	觜
十五日	水	ひのえ うま	七赤	ねはん会、横手かまくら、二の午、一粒万倍日	10	佛滅	さだん	参
十六日	木	ひのと ひつじ	八白	日蓮聖人誕生会、全国狩猟禁止、不成就日	11	大安	とる	井
十七日	金	つちのえ さる	九紫	伊勢神宮祈年祭、八戸えんぶり	12	赤口	やぶる	鬼
十八日	土	つちのと とり	一白	岡山西大寺会陽裸祭	13	先勝	あやぶ	柳
十九日	日	かのえ いぬ	二黒	雨水、万国郵便連合加盟記念日	14	友引	なる	星
廿日	月	かのと ゐ	三碧	旧小正月、水戸梅まつり、鳴雪忌、三りんぼう	15	先負	おさん	張
廿一日	火	みづのえ ね	四緑	○望、八せん始め	16	佛滅	ひらく	翼
廿二日	水	みづのと うし	五黄	一粒万倍日	17	大安	とづ	軫
廿三日	木	きのえ とら	六白	京都醍醐寺五大力尊仁王会	18	赤口	たつ	角
廿四日	金	きのと う	七赤	不成就日	19	先勝	のぞく	亢
廿五日	土	ひのえ たつ	八白	旧二十日正月、京都北野天満宮梅花祭、福井勝山左義長祭	20	友引	みつ	氐
廿六日	日	ひのと み	九紫		21	先負	たいら	房
廿七日	月	つちのえ うま	一白	三の午、一粒万倍日	22	佛滅	さだん	心
廿八日	火	つちのと ひつじ	二黒	全国火災予防運動	23	大安	とる	尾

三月大（やよい 弥生）宿 尾

（三月五日啓蟄の節より月命丁卯一白水星の月となる。暗剣殺北の方）

一日 日出 六時一二分 日入一七時三六分 旧 正月大 二月小

家事

〔上旬〕青色申告は早目に。ひな人形の手入れ収納。室内の模様替え。防寒衣の手入れ
〔中旬〕入園・入学・進学の準備。冬着の手入れ整理と春着の用意。墓参・先祖供養。花壇の手入れ・春まき草花の播種。下水消毒
〔下旬〕廃品整理。潮干狩りの好適期

農事

〔上旬〕ほうれん草・小かぶら・春まきごぼう播種。甘藍・京菜・ほうれん草収穫
〔中旬〕堆肥の積込み。かぼちゃ温床播種。馬鈴薯植付け。麦の土入れ・追肥・踏圧
〔下旬〕まくわうり温床播種。夏甘藍・夏ねぎ・根深ねぎ・夏大根播種。甘藷伏込み

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	直	宿
一日	水	かのえ さる	三碧	◑下弦、全国緑化運動、岐阜美江寺祭、東大寺二月堂修二会、庚申 旧正月大	24	赤口	やぶる	箕
二日	木	かのと とり	四緑		25	先勝	あやぶ	斗
三日	金	みづのえ いぬ	五黄	ひな祭、耳の日、新潟浦佐押合祭	26	友引	なる	牛
四日	土	みづのと ゐ	六白	八せん終り、三りんぼう、不成就日	27	先負	おさん	女
五日	日	きのえ ね	七赤	**啓蟄**、甲子	28	佛滅	おさん	虚
六日	月	きのと うし	八白	皇后誕生日	29	大安	ひらく	危
七日	火	ひのえ とら	九紫	消防記念日、三りんぼう、一粒万倍日	30	赤口	とづ	室
八日	水	ひのと う	一白	●朔、国際婦人デー 旧二月小	朔	友引	たつ	壁
九日	木	つちのえ たつ	二黒	茨城鹿島神宮祭頭祭、二日灸、不成就日	2	先負	のぞく	奎
十日	金	つちのと み	三碧	塩竈神社帆手祭、己巳	3	佛滅	みつ	婁
十一日	土	かのえ うま	四緑	鹿児島霧島神宮お田植祭、旧初午、大つち	4	大安	たいら	胃
十二日	日	かのと ひつじ	五黄	奈良東大寺二月堂お水取り	5	赤口	さだん	昴
十三日	月	みづのえ さる	六白	奈良春日大社祭	6	先勝	とる	畢
十四日	火	みづのと とり	七赤	◐上弦、近江八幡左義長祭、一粒万倍日	7	友引	やぶる	觜
十五日	水	きのえ いぬ	八白	京都嵯峨釈迦堂お松明式、旧こと始め、旧針供養	8	先負	あやぶ	参
十六日	木	きのと ゐ	九紫	西宮広田神社例祭	9	佛滅	なる	井
十七日	金	ひのえ ね	一白	不成就日	10	大安	おさん	鬼
十八日	土	ひのと うし	二黒	彼岸入り、石川気多神社おいで祭	11	赤口	ひらく	柳
十九日	日	つちのえ とら	三碧	社日、天しゃ、小つち、三りんぼう、一粒万倍日	12	先勝	とづ	星
廿日	月	つちのと う	四緑	上野動物園開園記念日	13	友引	たつ	張
廿一日	火	かのえ たつ	五黄	㊗**春分の日、春分**、彼岸中日、弘法大師忌	14	先負	のぞく	翼
廿二日	水	かのと み	六白	○望、NHK放送記念日、奈良法隆寺会式、旧ねはん会	15	佛滅	みつ	軫
廿三日	木	みづのえ うま	七赤	世界気象デー、旧二の午	16	大安	たいら	角
廿四日	金	みづのと ひつじ	八白	彼岸明け	17	赤口	さだん	亢
廿五日	土	きのえ さる	九紫	電気記念日、十方ぐれ入り、不成就日	18	先勝	とる	氐
廿六日	日	きのと とり	一白	復活祭、一粒万倍日	19	友引	やぶる	房
廿七日	月	ひのえ いぬ	二黒	京都表千家利休忌	20	先負	あやぶ	心
廿八日	火	ひのと ゐ	三碧	京都裏千家利休忌、東京品川千体荒神大祭	21	佛滅	なる	尾
廿九日	水	つちのえ ね	四緑		22	大安	おさん	箕
卅日	木	つちのと うし	五黄	◑下弦、奈良薬師寺花会式	23	赤口	ひらく	斗
卅一日	金	かのえ とら	六白	三りんぼう、一粒万倍日	24	先勝	とづ	牛

一割は明日に備えてまず貯蓄

四月小（うづき 卯月）宿 箕

（四月五日清明の節より月命戊辰九紫火星の月となる。暗剣殺南の方）

一日 日出 五時二八分 日入一八時〇二分 旧 二月小 三月小

家事

〔上旬〕日増しの春暖に気もゆるみがち・空き巣の用心（厳重な戸締まり励行）。花冷え時の健康注意。ジュウタン類の手入れ・整理。
〔中旬〕ゴールデンウィークの活用計画。冬着・家具・ふとんの始末。窓ガラス清掃
〔下旬〕端午節句の用意。庭木の手入れ・消毒

農事

〔上旬〕西瓜・かぼちゃ鞍築き。冬ねぎ・唐もろこし播種。春うど収穫。苗代の準備
〔中旬〕トマト・なす鞍築き。みのわせ大根播種。麦土入れ。里芋植付け。馬鈴薯中耕
〔下旬〕甘藷鞍築き。かぼちゃ・トマト・きゅうり植付け。小かぶ収穫。馬の種子付け

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	直	宿
一日	土	かのと う	七赤	新学年、新財政年度、エープリル・フール、親鸞聖人誕生会 旧二月小	25	友引	たつ	女
二日	日	みづのえ たつ	八白	佐原香取神宮御田植祭、日光輪王寺強飯式、不成就日	26	先負	のぞく	虚
三日	月	みづのと み	九紫	隠元禅師忌、天一天上	27	佛滅	みつ	危
四日	火	きのえ うま	一白	奈良竜田大社祭、岡山金光教春季大祭、旧三の午	28	大安	たいら	室
五日	水	きのと ひつじ	二黒	**清明**、岐阜伊奈波祭、神道修成派大祭	29	赤口	たいら	壁
六日	木	ひのえ さる	三碧	●朔、春の全国交通安全運動、不成就日 旧三月小	朔	先負	さだん	奎
七日	金	ひのと とり	四緑	世界保健デー、法然上人誕生会	2	佛滅	とる	婁
八日	土	つちのえ いぬ	五黄	灌仏会、花まつり、旧ひな祭	3	大安	やぶる	胃
九日	日	つちのと ゐ	六白	京都今宮神社やすらい祭、笠間稲荷春季例大祭	4	赤口	あやぶ	昴
十日	月	かのえ ね	七赤	婦人週間、京都平野桜祭、一粒万倍日	5	先勝	なる	畢
十一日	火	かのと うし	八白	メートル法公布記念日	6	友引	おさん	觜
十二日	水	みづのえ とら	九紫	世界宇宙飛行の日	7	先負	ひらく	参
十三日	木	みづのと う	一白	◐上弦、京都嵯峨虚空蔵十三詣り、一粒万倍日	8	佛滅	とづ	井
十四日	金	きのえ たつ	二黒	大津日吉大社山王祭、不成就日	9	大安	たつ	鬼
十五日	土	きのと み	三碧	高山山王祭、長浜曳山祭	10	赤口	のぞく	柳
十六日	日	ひのえ うま	四緑	三りんぼう	11	先勝	みつ	星
十七日	月	ひのと ひつじ	五黄	**土用**、科学技術週間	12	友引	たいら	張
十八日	火	つちのえ さる	六白	発明の日、天理教教祖誕生会	13	先負	さだん	翼
十九日	水	つちのと とり	七赤	京都松尾大社中西大祭	14	佛滅	とる	軫
廿日	木	かのえ いぬ	八白	**穀雨**、逓信記念日、郵便週間	15	大安	やぶる	角
廿一日	金	かのと ゐ	九紫	○望、京都壬生狂言、豊川稲荷春季祭	16	赤口	あやぶ	亢
廿二日	土	みづのえ ね	一白	靖国神社春祭、水沢日高火防祭、八せん始め、一粒万倍日、不成就日	17	先勝	なる	氐
廿三日	日	みづのと うし	二黒	京都伏見稲荷大社神幸祭、京都松尾大社神幸祭	18	友引	おさん	房
廿四日	月	きのえ とら	三碧		19	先負	ひらく	心
廿五日	火	きのと う	四緑	奈良興福寺文殊会、本派浄土宗法然上人忌、一粒万倍日	20	佛滅	とづ	尾
廿六日	水	ひのえ たつ	五黄		21	大安	たつ	箕
廿七日	木	ひのと み	六白	和歌山川辺道成寺鐘供養、長崎港まつり	22	赤口	のぞく	斗
廿八日	金	つちのえ うま	七赤	川崎身代り不動虫封じ、日蓮宗開宗会、三りんぼう	23	先勝	みつ	牛
廿九日	土	つちのと ひつじ	八白	㊗**天皇誕生日**、◑下弦、米沢上杉まつり	24	友引	たいら	女
卅日	日	かのえ さる	九紫	庚申、不成就日	25	先負	さだん	虚

お子さまの将来に貯蓄の花束を贈りましょう

五月大

（さつき／皐月）　斗宿

（五月五日立夏の節より月命己巳八白土星の月となる。暗剣殺東北方）

一日　日出 四時五〇分　日入 一八時二七分　旧 三月小 四月大

家事

（上旬）ムダを慎み健全家計の確立。法定伝染病の予防接種。家屋内外の大掃除・殺虫剤散布（トイレ・浴場・下水・ゴミ集積所）
（中旬）梅雨期に備えて洗濯物の整理。貴重品・重要書類等の総点検。防災用品の整備
（下旬）廃品処分。家族の健康増進に留意

農事

（上旬）水稲播種。西瓜・まくわうり・なす植付け。えん豆・ふき収穫。春蚕の掃立て
（中旬）陸稲・落花生播種。きゅうり・そら豆・甘藷・いちご・茶の収穫。麦・馬鈴薯散薬
（下旬）本田耕起。ごま・秋大豆播種。根深ねぎ・甘藷植付け。えん豆・玉ねぎ収穫

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	直	宿
一日	月	かのと とり	一白	メーデー、佐賀有田陶器市、富山高岡関野祭　旧三月小	旧暦26	仏滅	とる	危
二日	火	みづのえ いぬ	二黒	八十八夜、奈良東大寺聖武祭	27	大安	やぶる	室
三日	水	みづのと ゐ	三碧	●憲法記念日、博多どんたく、京都伏見稲荷還幸祭、八せん終り	28	赤口	あやぶ	壁
四日	木	きのえ ね	四緑	休日、下関海峡まつり（3日〜5日）甲子、一粒万倍日	29	先勝	なる	奎
五日	金	きのと うし	五黄	●こどもの日、立夏、●朔、端午、児童福祉週間、府中暗闇祭　旧四月大	朔	仏滅	なる	婁
六日	土	ひのえ とら	六白		2	大安	おさん	胃
七日	日	ひのと う	七赤	東京下谷神社祭、一粒万倍日	3	赤口	ひらく	昴
八日	月	つちのえ たつ	八白	世界赤十字デー、一粒万倍日、不成就日	4	先勝	とづ	畢
九日	火	つちのと み	九紫	己巳	5	友引	たつ	觜
十日	水	かのえ うま	一白	愛鳥週間、大つち	6	先負	のぞく	参
十一日	木	かのと ひつじ	二黒	長良川鵜飼開き、奈良興福寺薪能	7	仏滅	みつ	井
十二日	金	みづのえ さる	三碧	◐上弦、旧灌仏会	8	大安	たいら	鬼
十三日	土	みづのと とり	四緑		9	赤口	さだん	柳
十四日	日	きのえ いぬ	五黄	母の日、出雲大社例祭、奈良当麻寺会式、七尾青柏祭	10	先勝	とる	星
十五日	月	きのと ゐ	六白	沖縄本土復帰記念日、京都葵祭、大垣祭、東京神田祭、三りんぼう	11	友引	やぶる	張
十六日	火	ひのえ ね	七赤	大津三井寺千団子祭、不成就日	旧暦12	先負	あやぶ	翼
十七日	水	ひのと うし	八白	日光東照宮春季例大祭、伊豆下田黒船祭	13	仏滅	なる	軫
十八日	木	つちのえ とら	九紫	国際善意デー、小つち	14	大安	おさん	角
十九日	金	つちのと う	一白	奈良唐招提寺団扇まき、一粒万倍日	15	赤口	ひらく	亢
廿日	土	かのえ たつ	二黒	酒田日枝神社山王祭、福井三国祭、一粒万倍日	16	先勝	とづ	氐
廿一日	日	かのと み	三碧	小満、○望、真宗本派親鸞聖人誕生会、東京浅草三社祭	17	友引	たつ	房
廿二日	月	みづのえ うま	四緑		18	先負	のぞく	心
廿三日	火	みづのと ひつじ	五黄		19	仏滅	みつ	尾
廿四日	水	きのえ さる	六白	十方ぐれ入り、不成就日	20	大安	たいら	箕
廿五日	木	きのと とり	七赤	神戸湊川神社楠公祭、鶴岡化物祭、東京湯島天神祭、東京上野五条天神祭	21	赤口	さだん	斗
廿六日	金	ひのえ いぬ	八白	札幌ライラック祭	22	先勝	とる	牛
廿七日	土	ひのと ゐ	九紫	小田原道了尊大祭、三りんぼう	23	友引	やぶる	女
廿八日	日	つちのえ ね	一白	◑下弦、福岡筥崎宮さつき大祭、笠間稲荷お田植祭	24	先負	あやぶ	虚
廿九日	月	つちのと うし	二黒		25	仏滅	なる	危
卅日	火	かのえ とら	三碧		26	大安	おさん	室
卅一日	水	かのと う	四緑	一粒万倍日	27	赤口	ひらく	壁

六月小

（みなづき／水無月）　牛宿

（六月六日芒種の節より月命庚午七赤金星の月となる。暗剣殺西の方）

一日　日出 四時二七分　日入 一八時五一分　旧 四月大 五月小

家事

（上旬）制服の衣替え。春着の手入れ収納。雨具ぞろえ。食衛生と食品腐敗の注意。
（中旬）晴れ間を見てのふとん干し。雨具・皮革製品の手入れ。救急箱の完備。食器類の煮沸消毒。網戸・冷房器具の取付け
（下旬）中元の計画。七夕祭りの準備

農事

（上旬）苗代除草。陸稲中耕・除草。大麦・馬鈴薯・きゅうり・なす・玉ねぎ・甘藍収穫
（中旬）田植え。小麦・馬鈴薯・きゅうり・なす収穫。トマト・なす散薬。夏蚕の掃立て
（下旬）畑除草。きゅうり・かぼちゃ・なす・トマト・みのわせ大根収穫。畜舎防暑設備

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	直	宿
一日	木	みづのえ たつ	五黄	気象記念日、電波の日、相模川鮎解禁、一粒万倍日、不成就日　旧四月大	旧暦28	先勝	とづ	奎
二日	金	みづのと み	六白	横浜開港記念日、天一天上	29	友引	たつ	婁
三日	土	きのえ うま	七赤	天しゃ	30	先負	のぞく	胃
四日	日	きのと ひつじ	八白	●朔、歯の衛生週間、伝教大師忌、潮来慈母観音大法要　旧五月小	朔	大安	みつ	昴
五日	月	ひのえ さる	九紫	世界環境デー、環境週間、名古屋熱田祭	2	赤口	たいら	畢
六日	火	ひのと とり	一白	芒種、邦楽の日	3	先勝	たいら	觜
七日	水	つちのえ いぬ	二黒	計量記念日	4	友引	さだん	参
八日	木	つちのと ゐ	三碧	旧端午、不成就日	5	先負	とる	井
九日	金	かのえ ね	四緑	東京浅草鳥越神社例大祭	6	仏滅	やぶる	鬼
十日	土	かのと うし	五黄	時の記念日、広島とうか祭	7	大安	あやぶ	柳
十一日	日	みづのえ とら	六白	入梅、◐上弦、三りんぼう	8	赤口	なる	星
十二日	月	みづのと う	七赤		9	先勝	おさん	張
十三日	火	きのえ たつ	八白		10	友引	ひらく	翼
十四日	水	きのと み	九紫	大阪住吉田植祭、金沢加賀百万石祭、一粒万倍日	11	先負	とづ	軫
十五日	木	ひのえ うま	一白	東京日枝神社山王祭、北海道神宮祭、弘法大師誕生会、一粒万倍日	12	仏滅	たつ	角
十六日	金	ひのと ひつじ	二黒	柏崎えんま市、不成就日	旧暦13	大安	のぞく	亢
十七日	土	つちのえ さる	三碧	伊勢神宮月次祭、興教大師誕生会、奈良率川百合祭	14	赤口	みつ	氐
十八日	日	つちのと とり	四緑	父の日、海外移住の日	15	先勝	たいら	房
十九日	月	かのえ いぬ	五黄	○望、桜桃忌	16	友引	さだん	心
廿日	火	かのと ゐ	六白	京都鞍馬寺竹伐り会式	17	先負	とる	尾
廿一日	水	みづのえ ね	七赤	夏至、八せん始め	18	仏滅	やぶる	箕
廿二日	木	みづのと うし	八白		19	大安	あやぶ	斗
廿三日	金	きのえ とら	九紫	オリンピックデー、沖縄慰霊の日、三りんぼう	20	赤口	なる	牛
廿四日	土	きのと う	一白	東京芝愛宕千日詣り、清正公忌、不成就日	21	先勝	おさん	女
廿五日	日	ひのえ たつ	二黒		22	友引	ひらく	虚
廿六日	月	ひのと み	三碧	◑下弦、国連憲章調印記念日、一粒万倍日	23	先負	とづ	危
廿七日	火	つちのえ うま	四緑	一粒万倍日	24	仏滅	たつ	室
廿八日	水	つちのと ひつじ	五黄	貿易記念日	25	大安	のぞく	壁
廿九日	木	かのえ さる	六白	庚申	26	赤口	みつ	奎
卅日	金	かのと とり	七赤	大はらい、夏越祭	27	先勝	たいら	婁

季節収入を生活の計画化に

七月

七月大（ふみづき 文月） 宿 女

（七月七日小暑の節より月命辛未六白金星の月となる。暗剣殺西北方）

一日 日出 四時二九分 日入 一九時〇一分

旧 五月小 六月大

家事

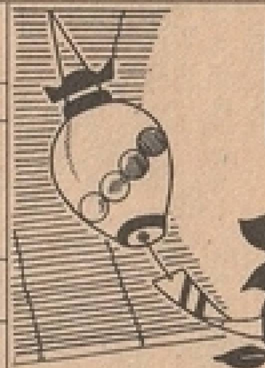
〔上旬〕お中元の贈答。部屋の模様替え。庭の除草・手入れ。食器棚・押入れの大掃除
〔中旬〕ぼんの用意・墓参・魂迎え・魂送り。寝具・衣類・敷物類の日干し。夏休暇計画。夏負け防止の家庭料理工夫。寝冷え注意
〔下旬〕暑中見舞い。土用波に注意

農事

〔上旬〕水田中耕・除草。なす・トマト・きゅうり・かぼちゃ・まくわうり収穫。製茶
〔中旬〕麦の調整。人参播種。水田中耕・除草。畑除草。陸稲中耕。なす・トマト・きゅうり・西瓜・まくわうり・里芋・夏甘藍収穫
〔下旬〕水田中耕。なす・トマト・西瓜収穫

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	中段	宿
一日	土	みづのえいぬ	八白	国民安全の日、社会を明るくする運動、富士山開き 旧五月小	28	友引	さだん	胃
二日	日	みづのとゐ	九紫	半夏生、博多祇園山笠（1日〜15日）八せん終り、不成就日	29	先負	とる	昴
三日	月	きのえね	九紫	●朔、九星陰遁始め、甲子 旧六月大	朔	赤口	やぶる	畢
四日	火	きのとうし	八白	米国独立記念日	2	先勝	あやぶ	觜
五日	水	ひのえとら	七赤	栄西禅師忌、三りんぼう	3	友引	なる	参
六日	木	ひのとう	六白		4	先負	おさん	井
七日	金	つちのえたつ	五黄	小暑、七夕、奈良吉野蛙飛び、成田不動尊祇園会	5	佛滅	おさん	鬼
八日	土	つちのとみ	四緑	己巳、不成就日	6	大安	ひらく	柳
九日	日	かのえうま	三碧	東京浅草観音ほおづき市、鴎外忌、大つち、三りんぼう、一粒万倍日	7	赤口	とづ	星
十日	月	かのとひつじ	二黒	国土建設週間、東京浅草観音四万六千日、佐原祇園祭	8	先勝	たつ	張
十一日	火	みづのえさる	一白	◐上弦、小倉太鼓祇園	9	友引	のぞく	翼
十二日	水	みづのとり	九紫	草市、福島伊佐須美田植祭、大阪生国魂神社夏祭、一粒万倍日	10	先負	みつ	軫
十三日	木	きのえいぬ	八白	ぼん迎え火、東京靖国神社みたま祭	11	佛滅	たいら	角
十四日	金	きのとゐ	七赤	熊野那智大社扇祭	12	大安	さだん	亢
十五日	土	ひのえね	六白	ぼん、勤労青少年の日、山形出羽三山花祭、茅ヶ崎寒川神社浜降祭	13	赤口	とる	氐
十六日	日	ひのとうし	五黄	ぼん送り火、やぶ入り、えんま詣り、京都松尾大社田植祭、赤日、不成就日	14	先勝	やぶる	房
十七日	月	つちのえとら	四緑	京都八坂神社祇園祭、小つち	15	友引	あやぶ	心
十八日	火	つちのとう	三碧		16	先負	なる	尾
十九日	水	かのえたつ	二黒	○望、広島宮島厳島神社管絃祭、初伏	17	佛滅	おさん	箕
廿日	木	かのとみ	一白	土用、海の記念日、山口祇園祭	18	大安	ひらく	斗
廿一日	金	みづのえうま	九紫	三りんぼう、一粒万倍日	19	赤口	とづ	牛
廿二日	土	みづのとひつじ	八白	敦賀気比総参祭、熊谷うちわ祭	20	先勝	たつ	女
廿三日	日	きのえさる	七赤	大暑、宇和島和霊祭、十方ぐれ入り	21	友引	のぞく	虚
廿四日	月	きのととり	六白	地蔵ぼん、河童忌、相馬野馬追大祭、大田山地蔵尊大祭、一粒万倍日、不成就日	22	先負	みつ	危
廿五日	火	ひのえいぬ	五黄	◑下弦、大阪天満天神祭	23	佛滅	たいら	室
廿六日	水	ひのとゐ	四緑		24	大安	さだん	壁
廿七日	木	つちのえね	三碧	神奈川大山阿夫利神社夏祭	25	赤口	とる	奎
廿八日	金	つちのとうし	二黒	土用の丑	26	先勝	やぶる	婁
廿九日	土	かのえとら	一白	中伏	27	友引	あやぶ	胃
卅日	日	かのとう	九紫		28	先負	なる	昴
卅一日	月	みづのえたつ	八白	大阪住吉祭、京都愛宕神社千日詣り、芦ノ湖湖水祭、宇佐喧嘩祭、堺大魚夜市	29	佛滅	おさん	畢

勤労の汗に貯蓄の穂がみのる



八月

八月大（はづき 葉月） 宿 虚

（八月七日立秋の節より月命壬申五黄土星の月となる。暗剣殺 なし）

一日 日出 四時四九分 日入 一八時四六分

旧 六月大 七月小 八月大

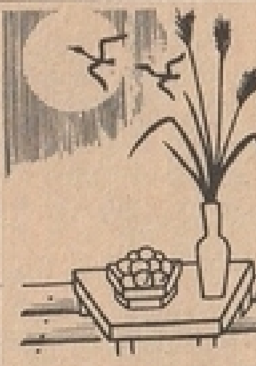
家事

〔上旬〕涼しい住まいの工夫。夜ふかしを慎み早起き励行。地域ぐるみの防犯対策。冷蔵食品の点検・室内冷房の調節。節水の励行
〔中旬〕寝具・敷物類の日光清毒。日射病の予防。子どもの宿題整理。残暑見舞い
〔下旬〕新学期準備。入念な台風対策

農事

〔上旬〕冬ねぎ・春まき根深ねぎ植付け。水田中耕・除草・唐もろこし・里芋・西瓜・トマト・なす・夏甘藍収穫。秋蚕の掃立て
〔中旬〕結球白菜練床播種。水稲灌漑。まくわうり・西瓜・きゅうり収穫。煮食大根播種
〔下旬〕甘藍植付け。きゅうり・唐辛子収穫

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	中段	宿
一日	火	みづのとみ	七赤	八朔、川崎身代り不動土用大護摩、天一天上、不成就日 旧六月大	30	大安	ひらく	觜
二日	水	きのえうま	六白	●朔、鬼貫忌、八戸三社祭、天しゃ、三りんぼう、一粒万倍日 旧七月小	朔	先勝	とづ	参
三日	木	きのとひつじ	五黄	津軽ねぶた祭	2	友引	たつ	井
四日	金	ひのえさる	四緑	京都北野天満宮例祭、不成就日	3	先負	のぞく	鬼
五日	土	ひのととり	三碧	塩竈みなと祭、久留米祭、一粒万倍日	4	佛滅	みつ	柳
六日	日	つちのえいぬ	二黒	広島原爆記念日、秋田竿灯、山形花笠祭、桑名石採祭	5	大安	たいら	星
七日	月	つちのとゐ	一白	立秋、鼻の日、仙台七夕まつり、東京佃まつり、新潟祭、三りんぼう	6	赤口	たいら	張
八日	火	かのえね	九紫	木曽御嶽山御神火祭、旧七夕、末伏、一粒万倍日	7	先勝	さだん	翼
九日	水	かのとうし	八白	長崎原爆記念日、宝塚中山寺夏会式	8	友引	とる	軫
十日	木	みづのえとら	七赤	◐上弦、京都清水寺千日詣り、下関忌宮数方庭祭、館山安房祭、西鶴忌	9	先負	やぶる	角
十一日	金	みづのとう	六白		10	佛滅	あやぶ	亢
十二日	土	きのえたつ	五黄	徳島阿波踊り（十五日まで）、不成就日	11	大安	なる	氐
十三日	日	きのとみ	四緑	月遅れぼん迎え火	12	赤口	おさん	房
十四日	月	ひのえうま	三碧		13	先勝	ひらく	心
十五日	火	ひのとひつじ	二黒	月遅れぼん、終戦記念日、東京富岡八幡宮祭、奈良春日大社万灯篭	14	友引	とづ	尾
十六日	水	つちのえさる	一白	旧ぼん、京都・箱根大文字、三島大社祭、松島灯篭流し、月遅れ盆送り火、天しゃ	15	先負	たつ	箕
十七日	木	つちのととり	九紫	○望、鶴岡庄内まつり、滋賀建部夏祭	16	佛滅	のぞく	斗
十八日	金	かのえいぬ	八白	伝教大師誕生会	17	大安	みつ	牛
十九日	土	かのとゐ	七赤	秋田花輪ばやし、三りんぼう	18	赤口	たいら	女
廿日	日	みづのえね	六白	鎌倉宮祭、潮来慈母観音御開帳、八せん始め、一粒万倍日、不成就日	19	先勝	さだん	虚
廿一日	月	みづのとうし	五黄		20	友引	とる	危
廿二日	火	きのえとら	四緑	一遍上人忌、千葉だらだら祭	21	先負	やぶる	室
廿三日	水	きのとう	三碧	処暑	22	佛滅	あやぶ	壁
廿四日	木	ひのえたつ	二黒	◑下弦、京都地蔵ぼん	23	大安	なる	奎
廿五日	金	ひのとみ	一白	旧地蔵ぼん、東京亀戸天神祭	24	赤口	おさん	婁
廿六日	土	つちのえうま	九紫	富士吉田火祭	25	先勝	ひらく	胃
廿七日	日	つちのとひつじ	八白	愛知一色大提灯	26	友引	とづ	昴
廿八日	月	かのえさる	七赤	庚申、不成就日	27	先負	たつ	畢
廿九日	火	かのととり	六白		28	佛滅	のぞく	觜
卅日	水	みづのえいぬ	五黄		29	大安	みつ	参
卅一日	木	みづのとゐ	四緑	●朔、旧八朔、八せん終り、三りんぼう 旧八月大	朔	友引	たいら	井



九月 小 （ながつき 長月） 宿 危

（九月八日白露の節より月命癸酉四緑木星の月となる。暗剣殺東南方）

一日 日出 五時一三分 日入 一八時〇九分　旧 八月大 九月大

家事

〔上旬〕地域的な防災訓練への参加。家庭用消火器の充実。非常用食品その他の点検

〔中旬〕夏着・夏家具・夏ふとんの手入れ。西日よけの工夫。障子・ふすま取付け用意。墓参・先祖供養。秋まき草花の播種開始

〔下旬〕知人へ音信。秋の衣替えの準備

農事

〔上旬〕ほうれん草・たくあん大根・秋ねぎ播種。結球白菜植付け。きゅうり・人参収穫

〔中旬〕玉ねぎ・甘藍冷床播種。菜種播種。きゅうり・蓮根・くわい収穫。干ぴょう製造

〔下旬〕ほうれん草・春ごぼう・根深ねぎ播種。早生稲・粟・大豆・甘藍・唐芋収穫

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	中段	宿
一日	金	きのえ ね	三碧	二百十日、防災の日、震災記念日、二日灸、甲子、一粒万倍日、不成就日 旧八月大	2	先負	さだん	鬼
二日	土	きのと うし	二黒	富山八尾風の盆、茨城鹿島神宮祭	3	佛滅	とる	柳
三日	日	ひのえ とら	一白		4	大安	やぶる	星
四日	月	ひのと う	九紫	敦賀気比神宮祭	5	赤口	あやぶ	張
五日	火	つちのえ たつ	八白		6	先勝	なる	翼
六日	水	つちのと み	七赤	己巳	7	友引	おさん	軫
七日	木	かのえ うま	六白	大つち	8	先負	ひらく	角
八日	金	かのと ひつじ	五黄	**白露**、◐**上弦**	9	佛滅	ひらく	亢
九日	土	みづのえ さる	四緑	**重陽**、救急の日、一粒万倍日、不成就日	10	大安	とづ	氐
十日	日	みづのと とり	三碧		11	赤口	たつ	房
十一日	月	きのえ いぬ	二黒	二百二十日、東京芝大神宮しょうが市	12	先勝	のぞく	心
十二日	火	きのと ゐ	一白		13	友引	みつ	尾
十三日	水	ひのえ ね	九紫	世界の法の日、白河提灯まつり	14	先負	たいら	箕
十四日	木	ひのと うし	八白	**十五夜**、福岡筥崎宮放生会	15	佛滅	さだん	斗
十五日	金	つちのえ とら	七赤	国**敬老の日**、○望、京都石清水八幡宮祭、大社教秋季大祭、三りんぼう、小つち	16	大安	とる	牛
十六日	土	つちのと う	六白	鎌倉鶴岡八幡宮やぶさめ、一粒万倍日	17	赤口	やぶる	女
十七日	日	かのえ たつ	五黄	不成就日	18	先勝	あやぶ	虚
十八日	月	かのと み	四緑		19	友引	なる	危
十九日	火	みづのえ うま	三碧	子規忌、岩手水沢駒形祭	20	先負	おさん	室
廿日	水	みづのと ひつじ	二黒	彼岸入り、航空日、動物愛護週間	21	佛滅	ひらく	壁
廿一日	木	きのえ さる	一白	十方ぐれ入り、一粒万倍日	22	大安	とづ	奎
廿二日	金	きのと とり	九紫	◑**下弦**	23	赤口	たつ	婁
廿三日	土	ひのえ いぬ	八白	国**秋分の日**、**秋分**、彼岸中日	24	先勝	のぞく	胃
廿四日	日	ひのと ゐ	七赤	結核予防週間	25	友引	みつ	昴
廿五日	月	つちのえ ね	六白	社日、不成就日	26	先負	たいら	畢
廿六日	火	つちのと うし	五黄	彼岸明け、和歌山日前・国懸祭	27	佛滅	さだん	觜
廿七日	水	かのえ とら	四緑	小田原道了尊大祭、三りんぼう	28	大安	とる	参
廿八日	木	かのと う	三碧	一粒万倍日	29	赤口	やぶる	井
廿九日	金	みづのえ たつ	二黒	道元禅師忌	30	先勝	あやぶ	鬼
卅日	土	みづのと み	一白	●**朔**、天一天上、不成就日 旧九月大	朔	先負	なる	柳

十月 大 （かみなづき 神無月） 宿 室

（十月八日寒露の節より月命甲戌三碧木星の月となる。暗剣殺東の方）

一日 日出 五時三五分 日入 一七時二六分　旧 九月大 十月小

家事

〔上旬〕共同募金に協力。家族そろっての体力づくり。家屋内外の大掃除。虫干し

〔中旬〕スポーツ祭典に参加。冬着の用意。草花球根の花壇植付け。報恩感謝の神仏詣り

〔下旬〕図書整理と読書の雰囲気づくり。季節料理の工夫。貴重品類の保管点検

農事

〔上旬〕京菜冷床播種。いちご植付け。水稲落水。甘藷・唐芋・ほうれん草・落花生収穫

〔中旬〕小麦・えん豆・小松菜・甘藍播種。中生稲・落花生・甘藍・唐芋収穫

〔下旬〕大麦・ほうれん草播種。甘藷・ほうれん草・唐芋・根深ねぎ収穫。羊の種子付け

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	中段	宿
一日	日	きのえ うま	九紫	労働衛生週間、共同募金、都民の日、北海道一般鳥獣狩猟解禁 旧九月大	2	佛滅	おさん	星
二日	月	きのと ひつじ	八白		3	大安	ひらく	張
三日	火	ひのえ さる	七赤	一粒万倍日	4	赤口	とづ	翼
四日	水	ひのと とり	六白	里親デー、福島二本松提灯祭、京都北野天満宮渡御祭	5	先勝	たつ	軫
五日	木	つちのえ いぬ	五黄	達磨忌	6	友引	のぞく	角
六日	金	つちのと ゐ	四緑	国際文通週間、亥の子餅	7	先負	みつ	亢
七日	土	かのえ ね	三碧		8	佛滅	たいら	氐
八日	日	かのと うし	二黒	**寒露**、◐**上弦**、長崎おくんち、旧重陽、不成就日	9	大安	たいら	房
九日	月	みづのえ とら	一白	万国郵便連合記念日、久留米高良大社例祭	10	赤口	さだん	心
十日	火	みづのと う	九紫	国**体育の日**、目の愛護デー、大津天孫神社祭、香川金刀比羅宮祭	11	先勝	とる	尾
十一日	水	きのえ たつ	八白	神戸海神社祭	12	友引	やぶる	箕
十二日	木	きのと み	七赤	**十三夜**、芭蕉忌、京都広隆寺牛祭、東京池上本門寺会式	13	先負	あやぶ	斗
十三日	金	ひのえ うま	六白	日蓮聖人忌、和歌山釜山祭、三りんぼう、一粒万倍日	14	佛滅	なる	牛
十四日	土	ひのと ひつじ	五黄	鉄道記念日、釜石曳船祭	15	大安	おさん	女
十五日	日	つちのえ さる	四緑	○望、新宮熊野速玉大社祭、姫路妻鹿神社喧嘩祭、天理石上祭、天しゃ	16	赤口	ひらく	虚
十六日	月	つちのと とり	三碧	愛媛新居浜太鼓まつり、一粒万倍日、不成就日	17	先勝	とづ	危
十七日	火	かのえ いぬ	二黒	貯蓄の日、日光東照宮秋祭、伊勢神宮神嘗祭	18	友引	たつ	室
十八日	水	かのと ゐ	一白	統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音菊供養	19	先負	のぞく	壁
十九日	木	みづのえ ね	九紫	東京日本橋べったら市、京都建勲神社舟岡祭、八せん始め	20	佛滅	みつ	奎
廿日	金	みづのと うし	八白	**土用**、えびす講、誓文払い、薬師寺秘仏吉祥天開扉	21	大安	たいら	婁
廿一日	土	きのえ とら	七赤	◑**下弦**、宇都宮二荒山神社秋祭	22	赤口	さだん	胃
廿二日	日	きのと う	六白	京都平安神宮時代祭、京都鞍馬寺火祭、瀬来悲母観音地蔵祭	23	先勝	とる	昴
廿三日	月	ひのえ たつ	五黄	**霜降**、電信電話記念日	24	友引	やぶる	畢
廿四日	火	ひのと み	四緑	国連の日、不成就日	25	先負	あやぶ	觜
廿五日	水	つちのえ うま	三碧	三りんぼう、一粒万倍日	26	佛滅	なる	参
廿六日	木	つちのと ひつじ	二黒	原子力の日、天理教秋季大祭、宮崎神宮大祭	27	大安	おさん	井
廿七日	金	かのえ さる	一白	読書週間、庚申	28	赤口	ひらく	鬼
廿八日	土	かのと とり	九紫	速記記念日、一粒万倍日	29	先勝	とづ	柳
廿九日	日	みづのえ いぬ	八白	福岡香椎宮秋季例祭	30	友引	たつ	星
卅日	月	みづのと ゐ	七赤	●**朔**、旧亥の子餅、炉開き、八せん終り 旧十月小	朔	佛滅	のぞく	張
卅一日	火	きのえ ね	六白	世界勤倹デー、明治神宮例大祭（11月3日まで）、甲子	2	大安	みつ	翼

十一月

十一月 小（しもつき 霜月）

宿 壁（十一月七日立冬の節より月命乙亥二黒土星の月となる。暗剣殺西南方）

一日 日出 六時〇二分 日入 一六時四六分　旧 十月小 十一月大

家事

〔上旬〕夜長の秋の家族団らん。草花球根の植付け。窓ガラスふき・カーテン取替え
〔中旬〕年賀状の用意。お歳暮計画。暖房器具の手入れ。お年寄り・幼児の健康注意。縫い物・編み物。台所整理。防犯と火の用心
〔下旬〕漬け物仕込み。健全な歳末家計立案

農事

〔上旬〕水田菜種植付け。晩生稲・人参・煮食大根・たくあん大根・ほうれん草収穫
〔中旬〕煮食大根・秋まき根深ねぎ・人参・ほうれん草収穫。米の調整。豚の種子つけ
〔下旬〕玉ねぎ・甘藷植付け。畑作よしず覆い。秋ねぎ・ごぼう・甘藍・人参収穫

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	十二直	宿
一日	水	きのと うし	五黄	燈台記念日、教育文化週間、新米穀年度　旧十月小	3	赤口	たいら	軫
二日	木	ひのえ とら	四緑	庄内百万石祭、不成就日、	4	先勝	さだん	角
三日	金	ひのと う	三碧	㊗文化の日、唐津おくんち、京都松尾大社上卯大祭、白河南湖神社秋祭	5	友引	とる	亢
四日	土	つちのえ たつ	二黒	消費者センター開設記念日	6	先負	やぶる	氐
五日	日	つちのと み	一白	己巳	7	佛滅	あやぶ	房
六日	月	かのえ うま	九紫	◐上弦、大つち、三りんぼう、一粒万倍日	8	大安	なる	心
七日	火	かのと ひつじ	八白	立冬、ソ連革命記念日	9	赤口	なる	尾
八日	水	みづのえ さる	七赤	世界都市計画の日、京都伏見稲荷火焚祭、ふいご祭、とおかんや	10	先勝	おさん	箕
九日	木	みづのと とり	六白	太陽暦採用記念日、一の酉、一一九番の日、一粒万倍日	11	友引	ひらく	斗
十日	金	きのえ いぬ	五黄	一粒万倍日、不成就日	12	先負	とづ	牛
十一日	土	きのと ゐ	四緑	世界平和記念日、三りんぼう	13	佛滅	たつ	女
十二日	日	ひのえ ね	三碧	京都嵐山もみじ祭	14	大安	のぞく	虚
十三日	月	ひのと うし	二黒	〇望、京都空也堂開山忌	15	赤口	みつ	危
十四日	火	つちのえ とら	一白	小つち	16	先勝	たいら	室
十五日	水	つちのと う	九紫	七五三、本州・四国・九州一般鳥獣狩猟解禁、出雲大社神在祭	17	友引	さだん	壁
十六日	木	かのえ たつ	八白		18	先負	とる	奎
十七日	金	かのと み	七赤	奈良談山神社例祭、市川中山法華経寺御会式	19	佛滅	やぶる	婁
十八日	土	みづのえ うま	六白	熊本八代妙見祭、旧えびす講、旧誓文払い、不成就日	20	大安	あやぶ	胃
十九日	日	みづのと ひつじ	五黄	一茶忌	21	赤口	なる	昴
廿日	月	きのえ さる	四緑	◑下弦、高崎えびす講、十方ぐれ入り	22	先勝	おさん	畢
廿一日	火	きのと とり	三碧	二の酉、近松忌、京都東本願寺報恩講、一粒万倍日	23	友引	ひらく	觜
廿二日	水	ひのえ いぬ	二黒	小雪、豊川稲荷秋季大祭、一粒万倍日	24	先負	とづ	参
廿三日	木	ひのと ゐ	一白	㊗勤労感謝の日、三りんぼう	25	佛滅	たつ	井
廿四日	金	つちのえ ね	九紫		26	大安	のぞく	鬼
廿五日	土	つちのと うし	八白	神道修成派教祖教霊大祭	27	赤口	みつ	柳
廿六日	日	かのえ とら	七赤	火災予防運動、不成就日	28	先勝	たいら	星
廿七日	月	かのと う	六白		29	友引	さだん	張
廿八日	火	みづのえ たつ	五黄	●朔、税関記念日、親鸞聖人忌、東京品川千体荒神大祭　旧十一月大	朔	大安	とる	翼
廿九日	水	みづのと み	四緑	天一天上	2	赤口	やぶる	軫
卅日	木	きのえ うま	三碧		3	先勝	あやぶ	角

十二月

十二月 大（しわす 師走）

宿 奎（十二月七日大雪の節より月命丙子一白水星の月となる。暗剣殺北の方）

一日 日出 六時三二分 日入 一六時二八分　旧 十一月大 十二月大

家事

〔上旬〕小包郵送は早目に。正月着の用意。すすはらい。障子・ふすまの貼り替え
〔中旬〕年賀状発送。正月用材料の購入
〔下旬〕墓参。クリスマスのプレゼント。餅つき。正月の飾り付け。神棚・仏壇の浄め拭き。正月用煮物。家屋内外の大掃除

農事

〔上旬〕秋まき早生甘藍植付け。桑園の施肥・中耕・結束。たくあん大根・煮食大根・結球白菜・秋ねぎ・ごぼう・甘藍・人参収穫
〔中旬〕麦の中耕・土入れ。畑の手笹立て。結球白菜・ごぼう・冬ねぎ・根深ねぎ収穫
〔下旬〕麦踏み・甘藍・冬ねぎ収穫

日	曜	干支	九星	行事	旧暦	六曜	十二直	宿
一日	金	きのと ひつじ	二黒	映画の日、歳末助け合い運動、鉄の記念日　旧十一月大	4	友引	なる	亢
二日	土	ひのえ さる	一白	不成就日	5	先負	おさん	氐
三日	日	ひのと とり	九紫	秩父神社夜祭、一粒万倍日	6	佛滅	ひらく	房
四日	月	つちのえ いぬ	八白	人権週間、一粒万倍日	7	大安	とづ	心
五日	火	つちのと ゐ	七赤	納めの水天宮、三りんぼう	8	赤口	たつ	尾
六日	水	かのえ ね	六白	◐上弦、秋葉権現火防祭	9	先勝	のぞく	箕
七日	木	かのと うし	五黄	大雪	10	友引	のぞく	斗
八日	金	みづのえ とら	四緑	こと納め、針供養、納めの薬師、成道会、三りんぼう	11	先負	みつ	牛
九日	土	みづのと う	三碧	京都了徳寺大根焚き、漱石忌	12	佛滅	たいら	女
十日	日	きのえ たつ	二黒	世界人権デー、納めの金毘羅、大宮氷川神社大湯祭、不成就日	13	大安	さだん	虚
十一日	月	きのと み	一白		14	赤口	とる	危
十二日	火	ひのえ うま	九紫		15	先勝	やぶる	室
十三日	水	ひのと ひつじ	八白	〇望	16	友引	あやぶ	壁
十四日	木	つちのえ さる	七赤	東京高輪泉岳寺義士祭	17	先負	なる	奎
十五日	金	つちのと とり	六白	年賀郵便特別扱い、岡山最上稲荷火焚祭	18	佛滅	おさん	婁
十六日	土	かのえ いぬ	五黄		19	大安	ひらく	胃
十七日	日	かのと ゐ	四緑	春日大社若宮おん祭、伊勢神宮月次祭、浅草観音年の市、一粒万倍日	20	赤口	とづ	昴
十八日	月	みづのえ ね	三碧	納めの観音、八せん始め、一粒万倍日、不成就日	21	先勝	たつ	畢
十九日	火	みづのと うし	二黒		22	友引	のぞく	觜
廿日	水	きのえ とら	一白	◑下弦、三りんぼう	23	先負	みつ	参
廿一日	木	きのと う	九紫	納めの大師	24	佛滅	たいら	井
廿二日	金	ひのえ たつ	八白	冬至	25	大安	さだん	鬼
廿三日	土	ひのと み	七赤	皇太子誕生日	26	赤口	とる	柳
廿四日	日	つちのえ うま	六白	クリスマス・イヴ、納めの地蔵	27	先勝	やぶる	星
廿五日	月	つちのと ひつじ	五黄	クリスマス、終い天神、蕪村忌	28	友引	あやぶ	張
廿六日	火	かのえ さる	四緑	庚申、不成就日	29	先負	なる	翼
廿七日	水	かのと とり	三碧		30	佛滅	おさん	軫
廿八日	木	みづのえ いぬ	二黒	●朔、官庁御用納め、納めの不動　旧十二月大	朔	赤口	ひらく	角
廿九日	金	みづのと ゐ	一白	八せん終り、一粒万倍日	2	先勝	とづ	亢
卅日	土	きのえ ね	一白	九星陽遁始め、甲子、天しゃ、一粒万倍日	3	友引	たつ	氐
卅一日	日	きのと うし	二黒	年越し、大はらい、男鹿なまはげ、出羽三山松例祭	4	先負	のぞく	房

一白水星

整備運

信用得れば運気も安泰

昭和五十六年辛酉　八歳
昭和四十七年壬子　十七歳
昭和三十八年癸卯　二十六歳
昭和二十九年甲午　三十五歳
昭和二十年乙酉　四十四歳
昭和十一年丙子　五十三歳
昭和二年丁卯　六十二歳
大正七年戊午　七十一歳
明治四十二年己酉　八十歳
明治三十三年庚子　八十九歳
明治二十四年辛卯　九十八歳

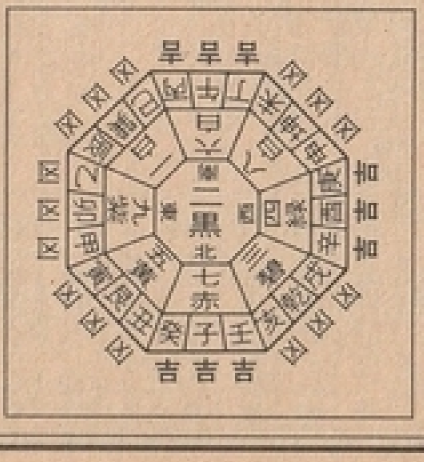
○吉方　壬子癸　丙午丁　庚酉辛
●凶方　丑艮寅　甲卯乙　辰巽巳　未坤申　戌乾亥

星性相（一白水星の）
大吉　六白　七赤
吉　一白　三碧　四緑
凶　二黒　五黄　八白　九紫

○本年は勢いに乗った昨年の運気を引き継いで、諸事好調に進展する年となります。しかし足もとを忘れ前進一本になると、肝心な事が手抜きになったり、まとまりのない結果を招きます。とかく本業外の雑用が発生したり、依頼事やうまい話などが起きやすい時ですが、十二分に検討した上で動くことです。経済面は有利な年ですが、あれこれ手を広げずに目標を絞り、契約事などは話だけにせず書類にすることです。それが本年の安泰を保ち、備えを固めます。かぜ、呼吸器、胃腸疾患に注意。開業、拡張、就職、新築、改築等は吉。

適職

哲学者、法律家、政治家、著述業、医師、水産・漁業、醸造業、印刷業、飲食業、酒販売業、浴場、観光業等。



一月の運勢
新しい意欲に燃え積極的に出ても調子に乗ることは禁物。順調の中に思わぬ支障や妨害が生じがち。言葉と乗り物に注意。
吉方　丑艮寅、丙午丁、乾亥

二月の運勢
対立に注意し、力みすぎず平常心で進むこと。交際は拡大しがちだが信用第一に約束は堅く守れ。かぜに注意のこと。
吉方　壬子癸、丙午丁、庚酉辛

三月の運勢
何事に自信が持てても実行は慎重に。気のゆるみから失敗起きがち。雑務に追われがちだが本分を忘れるな。旧病に注意。
吉方　庚辛

四月の運勢
手腕を大いに振るえる盛運月だが進退はタイミングが肝心。利己的にならず公正な姿勢が大切。忠告を守り謙虚にいけ。
吉方　なし

五月の運勢
前月に続いて好調な運気だが猛進や衝動的行動は禁物。交際面は明るく発展するが言葉に注意し何事も節度を忘れるな。
吉方　壬子癸、丙午丁

六月の運勢
新しい発想の芽生える月だが、順調を欠きがち。身辺の整備、改善などに力を入れ極力円満を図れ。その他乗り物に注意。
吉方　壬癸

七月の運勢
センスを働かせ頭脳プレーを発揮せよ。気を多くせず目標を絞った前進が肝心。争い事は避けぬと後を引く。心臓に注意。
吉方　なし

八月の運勢
努力が空転したり善意が役立たぬ時。人に先立つ事や不なれな事は一切避け本分を守れ。交際面の拡大は不可。体調注意。
吉方　庚酉辛

九月の運勢
新企画より実力をつけることが肝心で万全の前進態勢を固めよ。雑事多発しても本務を怠るな。消化器系統に注意せよ。
吉方　庚酉辛

十月の運勢
大いにやる気の起きる時だが甘言に乗るな。事の選択を誤るとムダ骨に終わる。良い協力者の忠言を守れ。車に注意。
吉方　丙午丁

十一月の運勢
急がずあわてず地道に事を進めよ。利益に走り義理を忘れぬこと。好調でも多情になると支障あり。かぜ、胸部に注意。
吉方　壬子癸、丙午丁、庚酉辛

十二月の運勢
目標を立てたら他事に心を移すな。雑用多くてもマイペースで本務を尽くせ。前進より身辺を固めよ。疲労は旧病を招く。
吉方　庚酉辛

二黒土星

浮沈運

忘れぬ用心、手堅い前進

昭和六十四年己巳　当歳
昭和五十五年庚申　九歳
昭和四十六年辛亥　十八歳
昭和三十七年壬寅　二十七歳
昭和二十八年癸巳　三十六歳
昭和十九年甲申　四十五歳
昭和十年乙亥　五十四歳
昭和元年丙寅　六十三歳
大正六年丁巳　七十二歳
明治四十一年戊申　八十一歳
明治三十二年己亥　九十歳

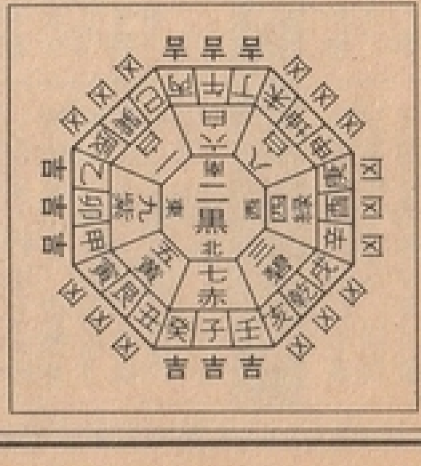
○吉方　壬子癸　甲卯乙　丙午丁
●凶方　丑艮寅　辰巽巳　未坤申　庚酉辛　戌乾亥

星性相（二黒土星の）
大吉　九紫
吉　二黒　五黄　六白　七赤　八白
凶　一白　三碧　四緑

○昨年に続いて運気順調な気がする年ですが、本年は好調に進展する反面、思わぬ期待外れがある年といえます。軽率に自己過信して不なれな事や大事に手を出すのは避け、自分のペースを守り、手堅く進む事です。責任を負うとか重荷を担うような事が起きたり、雑事多く、その対応に追われることになりますが、それがあなたの評価を決めかねません。一方旧事が復活し新たに対人関係が展開する傾向もありますが節度を守り慎重にすることで平穏を得られます。脳の障害、消化器の疾病、持病再発に注意。建築、建墓、開業等は不可。

適職

農業、不動産業、建設土木業、陶磁器業、骨董業、慈善事業、大衆食堂、大衆向職業、婦人用品や洋品店等。



一月の運勢
好調な運気に恵まれるが何事も急激な進退は禁物。昨年からの課題を片づけ今後の飛躍のために身辺を整えることが大切。
吉方　壬子癸、丑艮寅、丙午丁、坤申

二月の運勢
積極的気分で、自信をもって邁進してても万事七分に止どめること。好調に油断せず、手堅く進めば無事。疲れは残すな。
吉方　壬子癸、甲卯乙、丙午丁

三月の運勢
心身共に活気が満ち好調な運気に乗って行動的に出てよいが、自己中心的にならず大きな立場で進退せよ。神経疲れに注意。
吉方　甲卯乙

四月の運勢
快適な運気に甘えずマイペースを崩すな。社交面は明るければ得るところ大だが言葉を慎み飲食は節度を守れ。消化器注意。
吉方　なし

五月の運勢
心境に変化が生ずる一方で何事も改革の運気が起きる時。衝動的にならず十分考えた選択をすること。交際面の和を大切に。
吉方　甲卯乙

六月の運勢
活気が出て明るい月。前向きに才能を発揮すれば成果生ず。多方面に手を出さず、目標一つに進め。人との争い事は避けよ。
吉方　なし

七月の運勢
なれた事にも手違いや錯覚等生じやすい月。強気に出るより平常心で事に当たれ。欲を出すと損失多し。下半身に要注意。
吉方　なし

八月の運勢
新事に手を出したり人に先立っての突進は禁物。何かと雑事が起きるが誠意を忘れるな。賢者の指示や忠告が役に立つ。
吉方　丙午丁

九月の運勢
気分一新し大いに活力発揮できる月。なすべき事は延ばさず敏速に取り掛かれ。手に余る事、新事は避けよ。乗り物注意。
吉方　壬子癸、丙午丁

十月の運勢
順調に進展する好運月だが無理な前進や大事は避けよ。独走せず周囲との融和を図れば交際面も明るい月。かぜに注意。
吉方　壬子癸、丙午丁

十一月の運勢
表向きは順調に見えても思わぬ支障が生じがち。自信があっても速度を落とし手堅く進めば無事。争い禁物。腹部に注意。
吉方　壬子癸、甲卯乙、丙午丁

十二月の運勢
手腕を買われ何かと多忙な月。奉仕精神を生かせば信頼を得。予定外の事は断わる方が賢明。過労を避け身辺を整えること。
吉方　甲卯乙

三碧木星 ○ 盛大運

有頂天 思わぬ危険忘れるな

昭和六十三年戊辰	一	歳
昭和五十四年己未	十	歳
昭和四十五年庚戌	十九	歳
昭和三十六年辛丑	二十八	歳
昭和二十七年壬辰	三十七	歳
昭和十八年癸未	四十六	歳
昭和九年甲戌	五十五	歳
大正十四年乙丑	六十四	歳
大正五年丙辰	七十三	歳
明治四十年丁未	八十二	歳
明治三十一年戊戌	九十一	歳

○**吉方** 甲卯乙　庚酉辛

●**凶方** 壬子癸　丑艮寅　辰巽巳　丙午丁　未坤申　戌乾亥

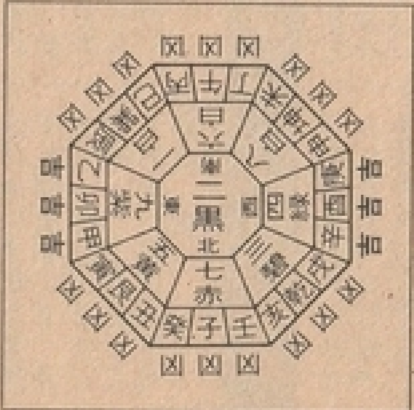
（三碧木星の星性相）

大吉	一白
吉	三碧　四緑　九紫
凶	二黒　五黄　六白　七赤　八白

○本年はあなたにとって最も勢いの強い時で、努力次第では大きな成果の上がる盛運の年です。これまで蓄積し練り上げてきた手腕力量を、勇気と共に発揮することです。だからといって未知の事や不なれな事に手出しは禁物で、あくまで本命の標的のみを狙い、多方面に気を散らすと支障が起き期待外れとなります。自己中心的になり独走することなく公明正大な姿勢で進むことが肝心で、さらに行きすぎを戒め情勢に臨機応変に対応する知恵も大切です。分外の動きから過労、精神不安定、心臓、外傷等に要注意で新築、開店等は吉です。

適職

電信・電気関係、放送通信関係業、薬器商、音楽家、作曲家、歌手、司会者、噺家、医師（外科系）探検家等。



一月の運勢
やる気十分でも勢いに乗った猛進は思わぬ雑事や問題を起こしがち。堅実さを守り何事も行きすぎぬこと。乗り物に注意。
吉方 坤申、乾亥

二月の運勢
快適な運気に恵まれ大いに活動して成果を得る月。好調でも節度ある進退を心がけよ。目上の忠告を忘れず本務を果たせ。
吉方 甲卯乙、庚酉辛

三月の運勢
強引や独走などは禁物で、周囲との協調、和合を大切にせよ。物質運に恵まれるが気ままな行動は避け流れに素直に従え。
吉方 なし

四月の運勢
変った行き方を望むが急速な転回は破れを招く。独り合点せず他の意見も生かせ。万事一歩ずつ進む気配りと沈着さが肝心。
吉方 なし

五月の運勢
心身共に快適となり積極的に活動できる月。自信過剰となり多角的に猛進しがち。表現は柔軟に、文書等は慎重に扱う事。
吉方 庚酉辛

六月の運勢
気負ったり力みすぎになると何事も支障挫折を招く。情勢を静観し現状を堅持する姿勢が大切。新規事は禁物。体調注意。
吉方 なし

七月の運勢
何事にも平常心で対応すべき月。雑事多発しがちだが人に先立つ事や大事は避け身辺の強化を図る方が賢明。胃腸に注意。
吉方 甲卯乙

八月の運勢
運気活発に進展する月で、計画事は実行に移してよい。手に余る事に挑んだり衝動的前進は禁物。言葉と乗り物に注意。
吉方 なし

九月の運勢
今月も好調な月だが勢いに乗っての猛進は不意に支障を生ず。状勢に応じた柔軟な進退が肝心。取引は有利だが節度も大切。
吉方 なし

十月の運勢
手腕を買われて依頼事が起きたり世話事生じがち。順調に進む一方で思わぬ雑事もあり、過激な言動は慎む事。旧病に注意。
吉方 なし

十一月の運勢
気力活発となり積極的に進み成果あり。利己的にならず公事に力を注げば目上の引立てや有利な評価を得。乗り物注意。
吉方 甲卯乙、庚酉辛

十二月の運勢
多事多忙の中にも喜び事生ずる月。好調に甘え進みすぎは脱線のもと。人間関係では言葉を慎重に。支出を制し蓄積図れ。
吉方 なし

四緑木星 ○ 喜悦運

豊かな実りに忘れぬ感謝

昭和六十二年丁卯	二	歳
昭和五十三年戊午	十一	歳
昭和四十四年己酉	二十	歳
昭和三十五年庚子	二十九	歳
昭和二十六年辛卯	三十八	歳
昭和十七年壬午	四十七	歳
昭和八年癸酉	五十六	歳
大正十三年甲子	六十五	歳
大正四年乙卯	七十四	歳
明治三十九年丙午	八十三	歳
明治三十年丁酉	九十二	歳

○**吉方** 辰巽巳　戌乾

●**凶方** 壬子癸　丑艮寅　甲卯乙　丙午丁　未坤申　庚酉辛　亥

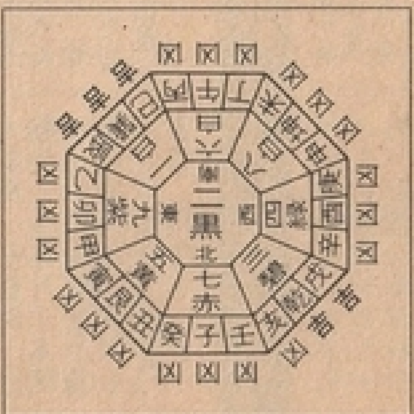
（四緑木星の星性相）

大吉	一白
吉	三碧　四緑　九紫
凶	二黒　五黄　六白　七赤　八白

○好調な昨年の運気に引き続き、本年も快適な年となるでしょう。何事にも気負ったり勢いづいて力んだ姿勢は禁物でかえって不利な結果を招きます。時の流れ、環境に従って行くことこそ最も賢明であり成果のあがる行き方です。経済面も順調ですが支出の増加を抑えることが大切です。人間関係も快調で豊かになりますが先方のペースに乗り本分を忘れぬことで、善意で言ったことが誤解されたり問題になりがちです。また他人事には介入せぬことです。かぜ、気管支、咽喉、口腔疾患、泌尿器等に注意。開業、建築、交渉事、結婚等は吉です。

適職

紡績業、木材販売業、運送業、民芸品・細工物製造・販売、観光・旅行業、外交販売業、そば店、大工等。



一月の運勢
年頭から運気活発となり、何事にも積極的となるが目標の選択が肝心。大事には目上の忠告を生かせ。乗り物に要注意。
吉方 坤申

二月の運勢
明るく快調な月だが衝動的に進むのは禁物。社交面も進展するが拡大しすぎに注意。とくに支出を慎重に。過食は禁物。
吉方 辰巽巳、戌乾

三月の運勢
頭を切り替え最善の策を取ること。欠陥を取り除き能率の向上を図れ。何事も急ぐことは失敗を招く。打撲、転倒に注意。
吉方 辰巽巳

四月の運勢
今月は行動的に出るより知恵で勝負するときで迷わず標的を絞って進め。不なれな行き方は思わぬ支障あり。文書に注意。
吉方 乾

五月の運勢
期待を持ったり自己過信は禁物。行きすぎた言動を慎み節度ある進退が大切。新事、大事は好機を待て。体調低下に注意。
吉方 戌乾

六月の運勢
運気は上向くが大きく動く時ではない。身辺にも雑事多発しがちだが本務を怠らぬこと。独断はせず目上の助言を生かせ。
吉方 なし

七月の運勢
前進への気力活発となり行動的となる月。予定の計画は実行してよいが行きすぎや他事に心移すと支障あり。乗り物に注意。
吉方 なし

八月の運勢
挑戦的になったり衝動的になると成る事も成らず。平常心を持ち節度ある対応が肝心。信頼得れば利多し。消化器に注意。
吉方 なし

九月の運勢
順調に運んでも油断は禁物。とかく運気安定せず、雑事や旧事再燃しがち。心静め、柔軟な対応が大切。持病等に注意。
吉方 なし

十月の運勢
万事好調に進展し努力に応じて成果がある月。自己中心的にならず公正な姿勢が肝心。良い目上の指示を守れば順調。
吉方 なし

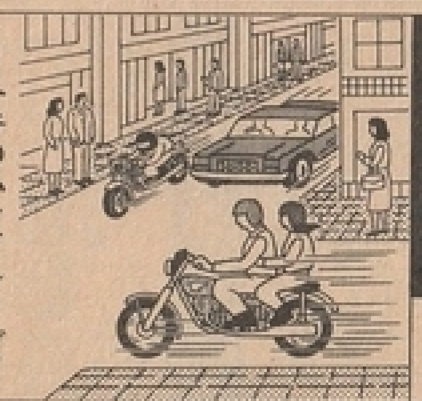
十一月の運勢
運気明るく何かと喜びのある月だが、定石守り脱線を避けよ。社交面も順調だが言葉に注意し誤解されるな。飲食面に注意。
吉方 辰巽、戌乾

十二月の運勢
気分一新して方向転換の気も生ずるが、急激な行動は支障を招く。雑事も多いが分外に手を出さず、身辺の整理が大切。
吉方 辰巽巳

まかぬ種は生えぬ

五黄土星

変革運



ここ一番のハンドルさばき

昭和六十一年	丙寅	三歳
昭和五十二年	丁巳	十二歳
昭和四十三年	戊申	二十一歳
昭和三十四年	己亥	三十歳
昭和二十五年	庚寅	三十九歳
昭和十六年	辛巳	四十八歳
昭和七年	壬申	五十七歳
大正十二年	癸亥	六十六歳
大正三年	甲寅	七十五歳
明治三十八年	乙巳	八十四歳
明治二十九年	丙申	九十三歳

○**吉方** 壬子癸　甲卯乙　丙午丁

●**凶方** 丑艮寅　辰巽巳　未坤申　庚酉辛　戌乾亥

（五黄土星の相性）

大吉 九紫

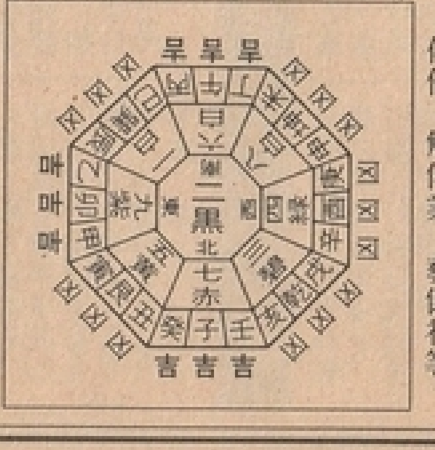
吉 二黒　八白　五黄　六白　七赤

凶 一白　三碧　四緑

○本年はいわば分かれ道にさしかかった時で、何事も進退に当たっては慎重な選択が大切です。自分好みや思いつきで動くことは、後になって悔いを味わうことになります。これまでの道を振り返り自己反省をし、新たな方針を見つけることです。頑固になったり独善的になると、親しい人を失うとか孤立無援の立場に立ちます。どこまでも周囲の人たちとの円満な接触を心がけるべきで、ことに利欲に傾くことは信頼を失うことになり今後の発展の妨げとなります。脳出血、心臓、消化器、打撲、外傷等に注意。改築、改装、設備投資、転職は吉。

適職

政治家、官公吏、宗教家、教育家、哲学者、評論家、闘士、裁判官、刑務官、俳優、解体業、葬儀社等。



一月の運勢

快適な運気に恵まれ大いに積極的に出がちだが、ブレーキが大切。交際が過ぎて本分を忘れがち。失言や放言に注意。

吉方 壬子癸、丑艮寅、辰巽巳、丙午丁、坤申

二月の運勢

新しい思いつきがあったり変化を求めたりしがちだが、利欲本位では支障あり。独断にならず周囲との調和を大切に。

吉方 壬子癸、甲卯乙、丙午丁

三月の運勢

心身共に明るく、前進的となるが落ち着きを失わぬこと。あれこれと気が多くなるが焦点を絞り冷静に進退していれば吉。

吉方 甲卯乙

四月の運勢

何事にも支障や妨害が生じがち。無理な前進は逆効果。状況に応じて柔軟に対応し無理はしないこと。飲食面にも要注意。

吉方 甲卯乙

五月の運勢

運気は底を脱したが油断禁物。性急に事を始めたり大事の着手は控えて無事。雑事も多いが本分を忘れるな。過労に注意。

吉方 甲卯乙

六月の運勢

一躍して活発な運気が展開。積極的、行動的となる月。人間関係の円満を図り独善を避けよ。何事も行きすぎは支障あり。

吉方 丙午丁

七月の運勢

順調に乗じて分外の猛進は慎むこと。情報を活用し巧みに進めば成果もある。良い交際から好機を得られる。かぜに注意。

吉方 壬子癸

八月の運勢

思わぬ吉事がある反面不意の障害、損失ありがち。ち密な気配り忘れず小事を軽視するな。争い事は厳禁。乗り物に注意。

吉方 丙午丁

九月の運勢

標的に向かって大いに力量を発揮せよ。好調に乗った過度な言動は逆効果を生ず。欲求を制し公事に尽力の姿勢が吉を招く。

吉方 壬子癸、甲乙、丙午丁

十月の運勢

前月の余勢で運気は快調。経済面も努力の効ある時だが支出もかさみがち。社交面も広がるが表現は慎重に。飲食に注意。

吉方 壬子癸、丙午丁

十一月の運勢

発想の転換を図り新境地を開拓すべき月。自己満足や自信過剰は後退のもと。目上の忠告を生かすことが賢明。外傷に注意。

吉方 壬子癸、甲卯乙、丙午丁

十二月の運勢

運気は明るいが多忙のため実力分散しがち。目標一本に絞り他の誘いに乗るな。争い事は成果を失うもと。火気に要注意。

吉方 甲卯乙

勤勉と貯金の道から行くのがもっとも安全

六白金星

光明運

栄光守るくふう忘れるな

昭和六十年	乙丑	四歳
昭和五十一年	丙辰	十三歳
昭和四十二年	丁未	二十二歳
昭和三十三年	戊戌	三十一歳
昭和二十四年	己丑	四十歳
昭和十五年	庚辰	四十九歳
昭和六年	辛未	五十八歳
大正十一年	壬戌	六十七歳
大正二年	癸丑	七十六歳
明治三十七年	甲辰	八十五歳
明治二十八年	乙未	九十四歳

○**吉方** 辰巽巳

●**凶方** 壬子癸　丑艮寅　甲卯乙　丙午丁　未坤申　庚酉辛　戌乾亥

（六白金星の相性）

大吉 二黒　五黄　八白

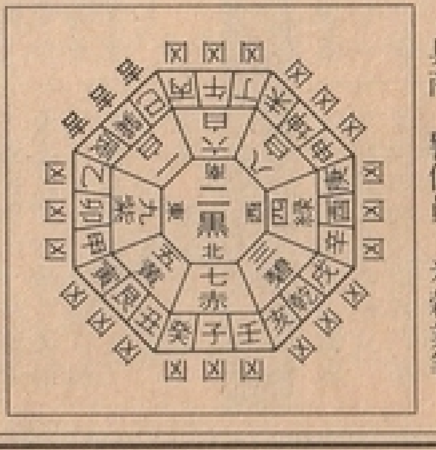
吉 一白　六白　七赤

凶 三碧　四緑　九紫

○本年は何事にも自分の手腕力量を最高度に発揮できる年といえます。持てる才能を十二分に生かし目標に自信をもって前進すべきです。それだけに周囲の注視を浴びる時で、安易な行き方や手違い等はそのまま評価されます。好調なだけに視野が広がり行動半径も広がりますが、拡大のしすぎは禁物で、交際面も豊かになるにつれ表現による問題が起きやすい時です。文書、契約事は慎重に対応しないと、後半から運気渋滞の兆しがあります。行きすぎを戒め、目、心臓、神経性疾患、高血圧等に注意。開店、開業、PR等は吉。火気に用心。

適職

官公吏、政治家、法律家、思想家、貴金属業、航空業、証券取引業、鑑定業、運動具商、警備員、米穀業等。



一月の運勢

年明けにふさわしい新しい対応が肝心で、自己中心的にならず周囲との協調を図れ。社交は柔和が第一。乗り物には要注意。

吉方 壬子癸、辰巽巳、丙午丁

二月の運勢

目標に向かって力強い前進が始まるが範囲を拡大しすぎぬこと。好調でも急ぐことなく冷静な進退が成果を得る。心臓に注意。

吉方 辰巽巳

三月の運勢

努力が空回りし期待も外れがち。何事も無理な方法をとらず流れに巧みに乗って本分を尽くせ。社交面の拡大は労苦多し。

吉方 なし

四月の運勢

運気やや好転してもまだ渋滞多し。急激な行動や独善的な行き方は禁物で腰をすえ今後の飛躍に備えを固める方が賢明。

吉方 辰巽巳

五月の運勢

万事活気づいて大いに行動的になる月。目標は逃がさず全力投入せよ。独善的は禁物で周囲と融合して吉。乗り物に注意。

吉方 辰巽巳

六月の運勢

好運月で経済面や交渉事は有利に運ぶ。何事も締めくくりや節度が大切で気を抜くと思わぬ結果となる。遺失物に注意。

吉方 なし

七月の運勢

自己過信から猛進しがちだが性急は失敗を招く。意外な雑事、世話事も起きがちだが本分はあくまで守れ。外出時に注意。

吉方 なし

八月の運勢

持てる力量をフルに生かせば成果ある月。近道より正道を歩む姿勢が大切で利欲より信義を重んじる方が有利で吉慶を招く。

吉方 なし

九月の運勢

引き続き運気好調に運ぶが、諸事一気に決める行き方は禁物。順調なほど冷静な対応が肝心。社交面は明るいが言葉に注意。

吉方 なし

十月の運勢

内部を見直して自己反省し新手法を用い効ある月。自信のない事は見送り盲動するな。人間関係の和を図り結束を固めよ。

吉方 巽巳

十一月の運勢

心身共に充実感に満ち大いに手腕発揮せよ。多方面に気を散らさず焦点を絞れ。早合点や過度の競争は禁物。心臓に注意。

吉方 辰巽

十二月の運勢

新事や大事には触れぬこと。雑務多いがあくまで本分を守り動揺するな。和合を大切にすることで有終の美を全うできる。

吉方 なし

七赤金星

低迷運

気力振るえば活路あり

昭和五十九年甲子	五歳
昭和五十年乙卯	十四歳
昭和四十一年丙午	二十三歳
昭和三十二年丁酉	三十二歳
昭和二十三年戊子	四十一歳
昭和十四年己卯	五十歳
昭和五年庚午	五十九歳
大正十年辛酉	六十八歳
大正元年壬子	七十七歳
明治三十六年癸卯	八十六歳
明治二十七年甲午	九十五歳

○吉方　辰巽巳　丑艮寅　甲卯乙　壬子癸　未坤申　庚酉辛

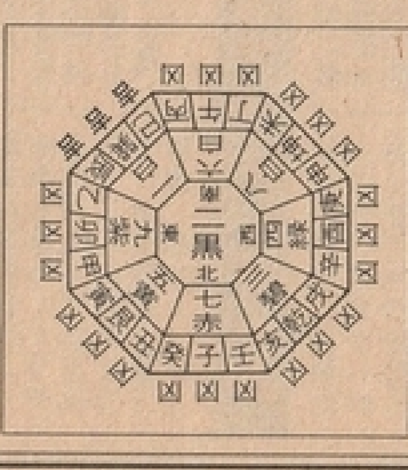
●凶方　丙午丁　戌乾亥

（星性相 七赤金星の）
大吉　二黒　五黄　八白
吉　一白　六白　七赤
凶　三碧　四緑　九紫

○いかに自信と力量の裏づけがあろうと、本年は何事にも急進したり体当たりするような行き方は挫折を招く衰運年です。状況によっては飛躍をしたくなりますが、できるだけ手控えるべきで無理な前進はこれまでの成果を失うことになります。対人関係も誤解や背反が起きやすく、甘言やムダな誘いは避けるべきです。経済面も用心が第一で情報に躍ると損失を招くでしょう。本年は自己啓発や才能の進展に努力すると成果が上がります。過労、持病の悪化、消化器、下半身の疾病、かぜの余病に注意。建築、開店、開業等すべて延期がよい。

適職

教授、講演家、弁護士、武芸家、闘士、司会者、芸術家一般、芸能人、外科医、歯科医、刀剣業、金融業等。



一月の運勢
年頭から頭冴え新プラン続出となるが実行には節度が大切。好調な時でも派手な発言は支障のもと。神経の疲労に注意。
吉方　丑艮寅、辰巽巳

二月の運勢
運気暗転し万事思い通り進まぬ月。あえて直進すれば逆効果となり損失を招く。新しい交際、取引等は控え現状を固めよ。
吉方　辰巽巳

三月の運勢
運気冴えずモタつくが焦りは禁物。行動半径を広げず自己啓発に励む方が賢明。雑事は要領よく片づけ飛躍に備えること。
吉方　なし

四月の運勢
運気一転し、活気を帯び果敢な行動が効を奏する月。本命の進展に全力を注げ。独善から争いを招くな。乗り物に注意。
吉方　辰巽巳

五月の運勢
なれた手段方法を用い臨機応変に行動すれば成果あり。変った行き方では支障を生じがち。社交面を活用する方が有利。
吉方　なし

六月の運勢
気負うと、始め良くても後悪い。平常心を忘れず冷静な姿勢を崩すな。雑務に追われ本分乱れがち。分外事の着手は禁物。
吉方　辰巽巳

七月の運勢
意欲的となり積極的に行動して成果を得る。節度を忘れると不意に支障生ず。人間関係の円滑和合を第一にしてこそ無事。
吉方　なし

八月の運勢
自信過剰を抑え謙虚な対応が肝心だが人の言に乗ったり無理な妥協は後悔のもと。経済面は有利だが失言、放言は慎むこと。
吉方　なし

九月の運勢
これまでのやり方に活を入れて進め。平凡に甘えると運気渋滞し諸事に収穫は乏しい。独善や頑固は今後の進展を妨げる。
吉方　なし

十月の運勢
状勢に合わせて力量発揮せよ。センス生かせば意外な成果生ず。何事も落ち着きが大切で、軽率は和を乱し、対立を招く。
吉方　巽巳

十一月の運勢
期待外れの多い衰運の時。ツキを望むよりも現状の不足不備を補う方が賢明。甘言で動かず、好機を待て。体調には注意。
吉方　辰巽

十二月の運勢
大小さまざまな雑事が頻発する多忙月。世話事や予定外の事は断わる方が無事。身辺を固め体力をつけよ。疲労は残すな。
吉方　なし

八白土星

渋滞運

気配り忘れず足もと築け

昭和五十八年癸亥	六歳
昭和四十九年甲寅	十五歳
昭和四十年乙巳	二十四歳
昭和三十一年丙申	三十三歳
昭和二十二年丁亥	四十二歳
昭和十三年戊寅	五十一歳
昭和四年己巳	六十歳
大正九年庚申	六十九歳
明治四十四年辛亥	七十八歳
明治三十五年壬寅	八十七歳
明治二十六年癸巳	九十六歳

○吉方　壬子癸　甲卯乙　丙午丁

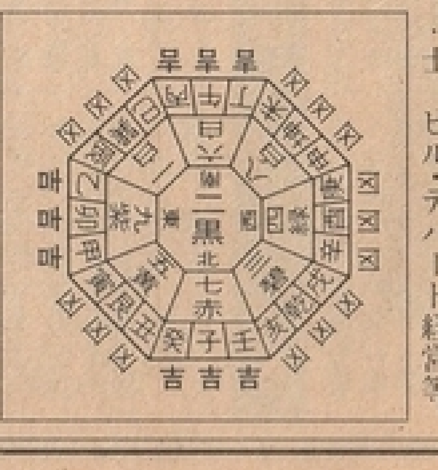
●凶方　丑艮寅　辰巽巳　未坤申　庚酉辛　戌乾亥

（星性相 八白土星の）
大吉　九紫
吉　二黒　五黄　六白　七赤　八白
凶　一白　三碧　四緑

○衰運の年を脱したものの、まだ好調に進展する年ではありません。遅れを取り戻そうと性急に成果を狙うような姿勢は決して取るべきでなく、時には大きな挫折となります。自信を持っている事も実行に移すよりプランを一層練り上げる行き方が賢明といえます。その気がなくても雑事が多発しますがそのために本分を軽視したり本筋を外れる事のないようすべきです。本年は腰をすえ心身両面の強化に努め来年の飛躍に備えるのが最も肝心なことです。消化器の疾患、精神の不安定、打撲、外傷、皮ふ病等に注意。新事は来年に回して吉。

適職

教育家、弁護士、金融関連業、土木建築業、倉庫業、警察官、自衛隊員、警備員、力士、ビル・デパート経営等。



一月の運勢
正月ムードにおぼれず軽率にならず何事にも節度が大切。人の口車に乗って分外事に手出しするな。また心身強化を図れ。
吉方　丑艮寅、辰巽巳、坤申

二月の運勢
状況好転してくるがまだ飛躍や猛進は支障を招く。好調に見えても運気一転の危険あり。独走せず周囲との協調が肝心。
吉方　壬子癸、甲卯乙、丙午丁

三月の運勢
活気ある勢いの強い月。自信あれば実行して成功す。但し中途で気を抜けば挫折す。軽率な発言すれば信用を失う。
吉方　なし

四月の運勢
マイ・ペースを続けてこそ成果は上がる。内部の問題点を一掃するに良い月。経済面は有利に運ぶが柔軟に進めれば一層好調。
吉方　甲卯乙

五月の運勢
自信があっても独善になれば支障あり。たとえ順調でも油断は禁物。思わぬ問題も生じがち。本分外の事に着手は禁物。
吉方　甲卯乙

六月の運勢
万事順調な進展をみる吉月だが直進せずに、柔軟な行動が必要。気配りが不足すると人間関係は破れがち。乗り物に注意。
吉方　丙午丁

七月の運勢
明るい姿勢で進めば諸事好都合に運ぶ。経済面の喜びや交際面に楽しさもあるが節度を守り支出を抑えよ。誤解されがち。
吉方　壬子癸

八月の運勢
気分一新して新事に目が移ったり、方針転換を考えるが性急は逆効果。判断を誤ると他人との調和を失う。乗り物に注意。
吉方　丙午丁

九月の運勢
気負って進むより、知恵で勝負せよ。才能は惜しまず生かして成果あり。好調でも戦線を拡大せず、本命に集中せよ。
吉方　甲乙

十月の運勢
支障生じて方針に迷うか失望しがち。無理な目標や望みは手控え、分に合った前進が肝心。他事に関係持つな。発病に注意。
吉方　なし

十一月の運勢
冴えない運気だが手堅く行けば無事。自我を張ったり強情は孤立のもと。人に先立つより現状を固め心身の強化に努めよ。
吉方　壬子癸、甲卯乙、丙午丁

十二月の運勢
活気に満ち多忙を乗り越えて大いに行動的になるが行きすぎは禁物。人間関係は融和が第一。対立争論は悔いを残す。
吉方　なし

九紫火星

○ 威勢運

楽しい前進油断が大敵

昭和五十七年壬戌	七歳
昭和四十八年癸丑	十六歳
昭和三十九年甲辰	二十五歳
昭和三十年乙未	三十四歳
昭和二十一年丙戌	四十三歳
昭和十二年丁丑	五十二歳
昭和三年戊辰	六十一歳
大正八年己未	七十歳
明治四十三年庚戌	七十九歳
明治三十四年辛丑	八十八歳
明治二十五年壬辰	九十七歳

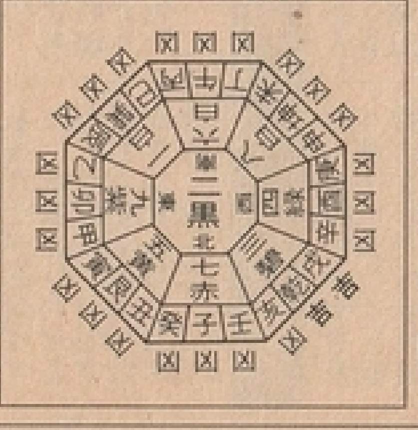
○吉方　戌乾

●凶方　壬子癸　丑艮寅　甲卯乙　辰巽巳　丙午丁　未坤申　庚酉辛　亥

(九紫火星の相性)
大吉　三碧　四緑
吉　二黒　五黄　八白　九紫
凶　一白　六白　七赤

○運気にわかに一転して活気に満ちた年を迎えました。目標達成を目指し全力を投入することにより大いに成果を得ることができます。しかし利欲に捉われたり思いつきでの猛進は禁物で、たとえ始め好調でも中途挫折に終ります。勢いに乗って他事に介入したり競争心を出しすぎぬことです。侠気を出して重荷を担ったり、自尊心の強さから思わぬ対立等も起きやすく、快調な時ほど周囲との融和を心がけるべきです。失言や放言なども十分戒めて下さい。神経の過労、目、心臓の疾患、手足の外傷等に注意。開店、開業、建築等は吉。

適職
政治家、思想家、著述家、学者、鑑定者、教育家、画家、会計士、美術工芸商、証券業、写真家、美容師等。



一月の運勢
一年の大計を練る計画作りに良い時。目標を定めても実行の時ではない。雑用も多いが次の飛躍に備え基盤作りをせよ。
吉方　壬子癸、辰巽巳、乾亥

二月の運勢
一転して運気快調に滑りだし行動的となるが、冷静さを忘れるな。何より速度の出しすぎが支障を生ず。交際は円満に。
吉方　戌乾

三月の運勢
今月も快適に進展する月で、賢明な対応、適切な気配りが成果を上げる。交渉や取引も好調だが、柔和な話し合いが肝心。
吉方　なし

四月の運勢
行動に自信と期待の持てる月だが、思わぬ問題が生じがち。何事も安全運転が大切で衝動的になると挫折す。飲食に注意。
吉方　なし

五月の運勢
才知力量を大いに発揮できる盛運月。本命に対して全力を投入してよい。自己過信や独善を注意。人の和こそ大切な時。
吉方　なし

六月の運勢
運気引き続き好調だが勢いに乗りすぎぬ事。小さな油断が失敗を招く。収入もあるが支出もある。交際面は慎重に行け。
吉方　戌乾

七月の運勢
あれこれ考えて選択に迷うとき。利己的になると対立や孤立を招く。周囲との調和を忘れず、後に備え自己啓発に努めよ。
吉方　なし

八月の運勢
運気上向きとなり大いに意欲的となる月。神経過敏になりやすく気負いがちだが、努めて冷静が吉。体力より知恵で行け。
吉方　なし

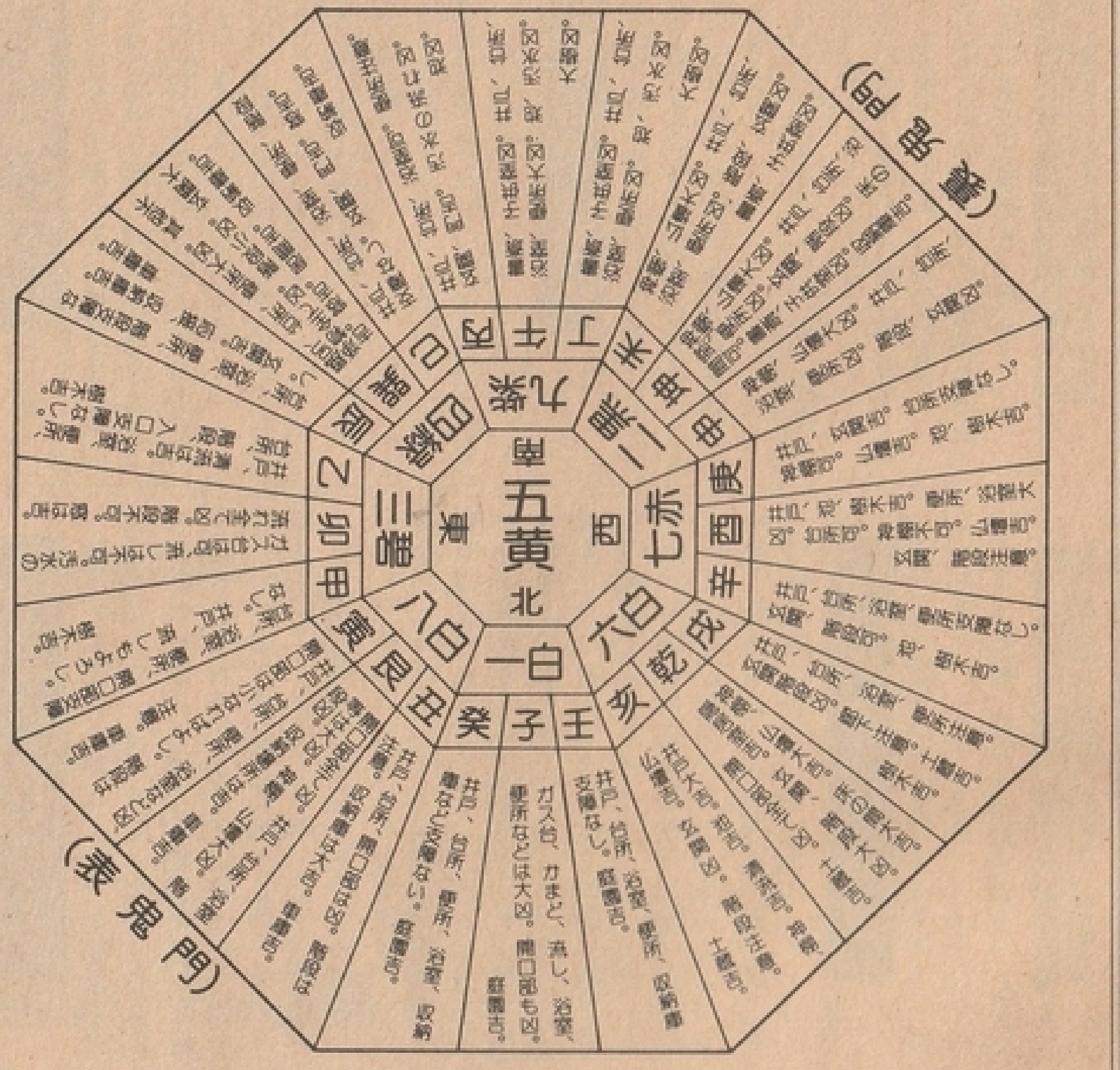
九月の運勢
やる気があっても空転するとか思わぬ支障が生ずる月。行動よりも飛躍に備え、計画作りや自己啓発が賢明。体力を養え。
吉方　なし

十月の運勢
運気好転しても甘い考えは不可。新事や大事を避け人に先立つな。軽率な表現を慎み、人脈を固め気力を練るのが肝心。
吉方　戌乾

十一月の運勢
積極的、挑戦的になる月だが急進は支障を招く。大言せず不言実行で成果を得よ。とかく対抗的になるが何より和合が第一。
吉方　戌乾

十二月の運勢
勢いづいても落ち着き忘れず几帳面に雑事を片づけよ。人間関係は好調だが、拡大のしすぎは成果を失う。かぜに要注意。
吉方　なし

家相八方位吉凶一覧



家相盤の用いかた

上図が家宅や宅地の吉凶相を鑑定するのに用いる〈家相盤〉です。ご覧になるとお判りのように、二十四方位に分割されておりますので〝二十四山〟とも称されております。

家相盤の用い方は、まずこの図盤を家宅の中央にあたる箇所に置き、磁石盤を用いて東西南北の位置を正確に定めます。そして図の線をまっすぐ延ばしていった延長上(区域内)にある事物と、図盤の中に記されてある説明と比較対照して吉凶を鑑定いたします。

たとえば北の正中(子の方位)に線を延ばしていって、もしもそこに便所、流しなどの不浄所や不浄物置き場があれば、その家の主人が方災の厄難を受けると鑑定いたします。また艮方(うしとら)にあたる延長線上に門があるときは、その門は古来から病門と称されて、その家には病人が絶えないと鑑定いたします。

お宅はどんなですか？　この家相盤で小手調べをなさってはいかがですか。

神棚の吉凶方位

○東方位に設けて南向き、西向きは吉。
○東南方に設けて西北向き、西向きは吉。
○南方位に設けて北向きはよろしくありません。東向きにするのが吉。
○西方位に設けるのは、あまりよろしくありません。
○西北方位に設けて南向き、東南向き、東向きは吉。
○北方位に設けて南向き、東向きは吉。
○西南方位、東北方位に設けるのは凶とされております。

仏壇の吉凶方位

○東方位に設けて西方位、南方位に向けるのは吉。北向きはいけません。
○東南方位に設ける場合は、南向きとすることです。
○南方位に設ける場合には、北方位向きに限ります。
○西方位に設ける場合には、東方位、南方位、東南方位に向けるのが吉。
○西北方位に設けて南向き、東向きは吉。
○北方位に設けて南向き、西向きは吉。
○西南方位、東北方位に設けるのは凶とされております。

柱立ての吉凶

家屋を新築する際は、まず地相学上の吉方位及び年・月の吉方を選び、さらにまた左の日取りを選んで地鎮祭並びに柱立てを執り行ないます。吉日としては、甲子・甲寅・甲辰・乙未・乙酉・戊申・庚子・庚午・庚戌・辛卯・壬子・壬寅の日があります。ただし、寅の日の三りんぼうに当たる日は凶日となります。

なお、吉祥にかなった正しい柱立ての順序は左のとおりです。

※春は南から立てはじめて、東、西、北の順に立てます。
※夏は北から立てはじめて、南、西、東の順に立てます。
※秋は東から立てはじめて、西、北、南の順に立てます。
※冬は西から立てはじめて、東、南、北の順に立てます。

棟上げの吉日

棟上げには、左の日が上吉の日とされています。

甲子、甲辰、甲午、乙卯、乙酉、乙亥、
庚子、庚辰、庚午、庚戌、辛丑、辛亥、
壬申、癸巳、癸酉、癸亥、

蚕はき立ての吉凶

○**蚕はき立ての吉日**　戊辰・己巳・戊午・丁巳・甲寅の日がよく、また暦の中段のおさん・みつの日が大吉。●**蚕はき立ての凶吉**　庚申・庚戌の日は凶日。○**蚕はき立ての吉方**　甲・巽・坤の方位（但し本命・的殺・暗剣殺・五黄殺は除く）に向かい蚕児のはき立てをすれば大豊作。●**蚕はき立ての凶方**　暗剣殺・五黄殺・本命・的殺または戌・乾・亥の方向に向かい蚕児のはき立てをするのは凶。

厄除け消除法

厄年に当たった年は病難災難が多く、病気にかかると重病長病になり、不時の災難、交通事故、難産流産、事業失敗等は厄年に多い。厄年とは自分の星が年盤方位図の中央、北、艮・坤に位置する年で、**昭和六十四年は二黒、五黄、七赤、八白の星の人**（各人の星はこの暦の表紙裏の年令早見表を見れば分る）である。この厄を除くには身代り星祭を早くするがよく、不幸にも病難災難にかかってから厄年である事が分ったら、〒213川崎市高津区下作延町・**身代り不動尊大明王院**（梶ガ谷駅下車）電話川崎(044)865—八一一一番に参詣するか、郵便で姓名、生年月日を明記し、三千円か特別金五千円を同封送金し、大札と厄除御守を受けるがよい。

姓名判断の仕方

姓名の吉凶を判断するには、いろいろ諸条件がありますが、その第一は文字の持つ意義であります。厄とか死といった文字が心に良い影響を与えはしません。

第二に姓と名との調和であります。これには姓の画数と、名の画数との調和があり、その上に姓の音と名の音との調和があります。

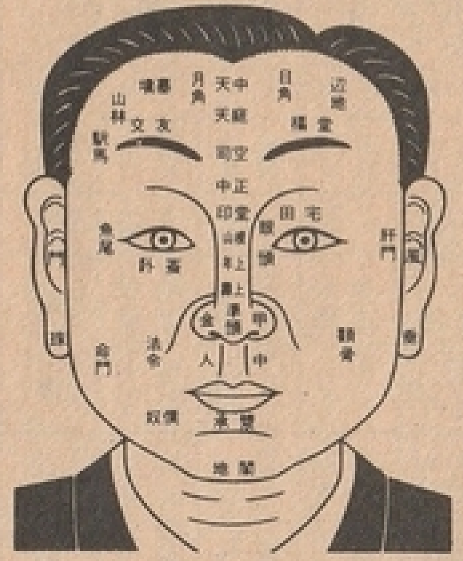
第三には、最も大切な条件である字画数であります。よく総画数だけを以て吉凶を云々する人がいますが、それよりも大切なことは、姓名全体がどのような数によって構成されているかということです。これが姓名の吉凶の決定的条件です。

第四には先天運との調和であります。ある画数が誰にでも吉の作用をしたり、凶の作用をするものではありません。ある人には強過ぎたり、ある人には全く適合していないといわれるのは先天運という基準があってのことです。

同姓同名によって運気が違ってくるのも、生年月日の先天運と名との調和の状態がそれぞれ異なるからです。

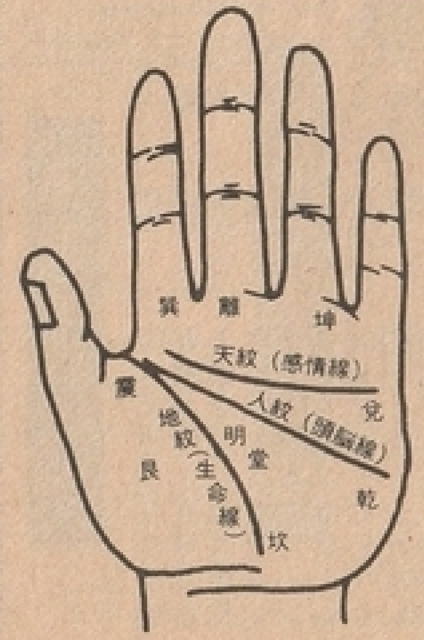
このほかに、長幼の序、たとえば兄がいるのに弟に一郎といった長子の意の名は用いるべきでなく、また男女の区別がつかないような名前は吉作用を大きく減ずることになります。要約しますと、姓名の吉凶は数と音の調和と、先天運との調和によって成り立つのです。

人相の見方



およそ顔面には三停・五嶽・十二宮の局部があり、天中・辺地・山林にかけて骨秀で肉豊潤であれば志望成就するの相であり、疵や血色悪ければ災厄を招く。天庭・司空・中正から日角・駅馬・福堂・交友一帯が肉豊かに血色良ければ幸福の時で、血色悪き時は健康に要注意。印堂・山根・年上・寿上・準頭に疵があるか血色が悪い時は不運でもあり病弱でもあるから養生が大切。臥蚕・田宅に疵黒子があれば家庭不安定で、ここがふっくらと肉整っておれば幸福。肝門・魚尾に美色現われた時は心操に乱れ生じ、人中に疵黒子あるのは子孫なく、承漿・地閣が豊満の人は幸運の相であると判断します。

手相の見方



小指の下部から中指、人差指の間に向かって走っている湾曲の横紋を天紋といい、この紋が整然と乱れなく明らかなのは職業、営業に成功する相です。親指、人差指の間から発して腕の方に走り、親指の根本に達する紋を地紋といい、寿命が長い人はこの紋が長く、短い人は短命の相です。地紋から別れて天紋と地紋の間を長く走るのを人紋といい、この紋の先端が小指の方に上向いている人は感情豊かで常識円満、身上安定の相です。人紋の先端が下向きに流れている人は精神安定を欠き、常に不安であり、運命変化の多い人です。なお掌の中央部の明堂が紅潤色をしているのは吉相で、青色、暗色がただよっているのは凶相と判断します。

夢判断

○朝日の出る夢見れば大いに立身出世す
○天に昇る夢見れば物事大いに成功す
●月日落ちる夢を見れば父母をうしなう
●天から落ちるか、天地暗黒となるは凶
○夜が明ける夢を見ると病人快復する
●高貴の人とすわる夢は憂いごとあり
○雪降る夢は終日喜び事ありてよろし
●歯が抜け落ちる夢は親戚に不吉事あり
○雷にうたれる夢を見ると大いによろし
●雨に濡れる夢は憂い事生じてわるし
○水がみなぎる夢を見ると縁談ととのう
●父母と離別する夢は必ず風波ありて凶
●夫婦で飲食する夢は離別騒ぎが生ず
○髪しらがとなる夢は慶び事ありて吉
●髪抜け落ちる夢は子に祟り事ありて凶
○船に乗り海を渡る夢はよろづよろし
○山登りする夢を見ると果報ごとあり
●汗をかく夢を見れば大いにわるし
○玉を得る夢を見ればよき子宝を授かる
●鏡われる夢を見るは大いにわるし
●座敷に草木生える夢は大いにわるし
○葬儀の列に出会う夢は厄除けにて吉
●死人生き返る夢は災禍事のある前兆
●人集まる夢を見ると災厄ごと生ず
○乗り物に乗る夢を見ると慶び事あり

潮汐満干の時刻

この表の数値は東京(芝浦)に於ける時刻である
水路図誌複製「海上保安庁承認　第630308号」

月	日(新暦)	潮差	満潮	満潮	干潮	干潮
1月	一日	小潮	一〇、三五	—	三、五六	一八、三五
1月	十五日	〃	九、五六	二二、三七	三、二九	一六、一〇
2月	一日	長潮	一、五六	一〇、三五	四、〇三	一九、四四
2月	十五日	〃	一〇、四九	—	—	一九、四七
3月	一日	小潮	八、四八	—	三、四〇	一六、四七
3月	十五日	〃	八、一九	—	三、二九	一七、四八
4月	一日	長潮	二、四四	一二、五二	七、五二	一九、四二
4月	十五日	〃	二、三五	一三、〇七	八、一四	一九、四八
5月	一日	〃	二、〇四	一三、三三	八、〇〇	一九、五六
5月	十五日	〃	一、一二	一三、五五	八、〇八	一九、四三
6月	一日	〃	二、〇八	一五、五六	八、五二	二一、二二
6月	十五日	〃	一、〇四	一五、二六	八、五二	二〇、三五
7月	一日	〃	三、〇八	一六、五五	九、一九	二一、五一
7月	十五日	〃	〇、四三	一六、二四	八、二七	二一、〇四
8月	一日	大潮	四、〇一	一七、五六	一〇、四〇	二三、三二
8月	十五日	〃	二、四二	一七、一〇	八、五一	二三、三三
9月	一日	〃	五、一七	一七、五九	一二、四二	二三、四九
9月	十五日	〃	四、一〇	一七、一二	一〇、五二	二三、〇七
10月	一日	〃	五、四四	一七、四三	一二、四三	二三、四五
10月	十五日	〃	五、〇五	一八、五九	一二、〇五	二三、一五
11月	一日	中潮	六、四四	一七、五五	—	一二、一二
11月	十五日	大潮	六、四九	一七、一九	一二、五六	—
12月	一日	中潮	七、二八	一七、四二	〇、〇五	一三、四〇
12月	十五日	〃	七、二七	一七、四七	〇、二五	一三、二八

潮汐についての詳細は、次のところに問い合せて下さい。海上保安庁水路部内「海の相談室」〒104 東京都中央区築地5-3-1 ☎03-541-3811(内線738)　または、第三管区海上保安本部水路部 〒231 横浜市中区北仲通り6-64 ☎045-211-0771(内線325)

種まきの適期

作物	適期
水稲	四月下旬～五月中旬
陸稲	五月上旬～五月下旬
大麦	十月中旬～十一月中旬
裸麦	十月中旬～十一月中旬
小麦	十月中旬～十一月下旬
粟	五月下旬～七月上旬
きび	五月上旬～六月中旬
とうもろこし	四月上旬～五月下旬
大豆	五月上旬～六月中旬
小豆	六月上旬～六月中旬
いんげん	四月中旬～五月上旬
えんどう	十月中旬～十月下旬
そらまめ	九月中旬～十月中旬
そば	四月下旬～六月上旬
そば	八月上旬～八月下旬
甘藷	(植)五月中旬～六月上旬
馬鈴薯	三月中旬～三月下旬
里芋	四月中旬～四月下旬
なす	(植)四月下旬～五月中旬
トマト	(植)四月下旬～五月中旬
きゅうり	(植)四月下旬～五月中旬
南瓜	(植)四月下旬～五月中旬
白菜	八月上旬～八月下旬
大根	八月下旬～九月上旬
にんじん	六月中旬～七月中旬
ごぼう	四月下旬～五月上旬
ごぼう	九月下旬～十月上旬
ねぎ	三月中旬～三月下旬
ねぎ	九月中旬～九月下旬
かぶ	八月下旬～九月下旬
かぶ	二月下旬～五月下旬
ほうれんそう	八月下旬～九月中旬
ほうれんそう	十月上旬～十月下旬

勝負事に勝つ法

●勝負事、掛け合い事に勝つ法として、古来から次のような方法があります。これはまず破軍星を求め、この破軍星を常にうしろにして賭け事、諸相場、掛け合い事をすれば勝てるという方法です。

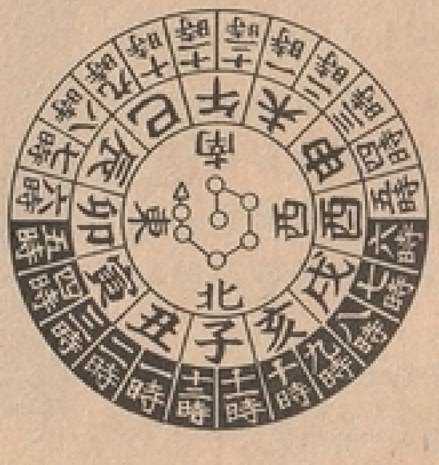
●破軍星の求め方は、まず勝負をしようとする時刻にあたる十二支を**甲図**で求め次に、勝負する月(必ず旧暦による)に対する繰り数を**乙表**で求めます。

●**甲図**で求めた十二支から、**乙表**で求めた繰り数だけ右回り(丑寅卯辰…の順)に数えてきまる十二支が求める方位です。

●ただし、時刻は午前と午後によって干支が異なってきますからご注意して下さい。これは、子の中央から右回りに丑寅卯辰巳…の順に数え、午の中央までを午前とし、残りを午後とします。

●例えば、旧正月のある日の午後四時に勝負するときは、午後四時を目安にして申ときめ、次に正月を目安にして**乙表**から繰り数五ツ目を求め、申から右回りに五ツ目、すなわち子の方位を求め知るというわけで、ここが破軍星の方位となります。この方法で用いる月は旧暦です。

甲図



乙表

月	繰り数
正月	五ツ目
二月	六ツ目
三月	七ツ目
四月	八ツ目
五月	九ツ目
六月	十目
七月	十一目
八月	十二目
九月	一ツ目
十月	二ツ目
十一月	三ツ目
十二月	四ツ目

家庭祝儀・法事

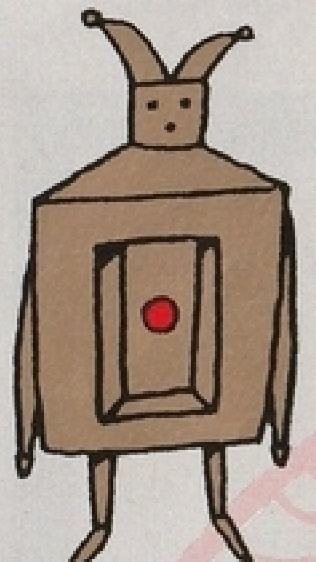
〔祝儀〕　○**岩田帯**＝妊娠五カ月目の戌の日、七尺五寸三分の晒木綿か白綿ネルに"寿"の字を書いて腹に巻く　○**お七夜**＝生後七日目、命名披露　○**お宮参り**＝男児三十一日目、女児三十三日目　○**お食初め**＝生後百二十日目、御飯をたべるまねをする　○**初誕生日**＝出生時の体重の三倍、身長が五割増しになっていたら標準発育　○**初節句**＝女児は三月三日、男児は五月五日　○**七五三**＝男児は三歳と五歳、女児は三歳と七歳の十一月十五日　○**成人式**＝男女共に満二十歳の一月十五日　○**紙婚式**＝結婚後満一年目　○**木婚式**＝結婚後満五年目　○**錫婚式**＝結婚後満十年目　○**銀婚式**＝結婚後満二十五年目　○**金婚式**＝結婚後満五十年目

○**還暦祝**＝満六十歳　○**古稀祝**＝七十歳
○**喜寿祝**＝七十七歳　○**傘寿祝**＝八十歳
○**米寿祝**＝八十八歳　○**卆寿祝**＝九十歳
○**白寿祝**＝九十九歳

〔法事〕　●初七日(死亡日から数えて七日目)、●二七日(死亡日から数えて十四日目)、●三七日(死亡日から数えて二十一日目)、●三十五日、●四十九日、●百カ日、●一周忌(死後満一年目の忌日)、●三回忌(死後満二年目の忌日)、●七回忌(死後満六年目の忌日)、●十三回忌、●十七回忌、●二十三回忌、●二十七回忌、●三十三回忌、●三十七回忌、●五十回忌、●百回忌

本年の年忌一覧

年忌	年	年忌	年
一周忌	昭和六十三年	二十七回忌	昭和三十八年
三回忌	昭和六十二年	三十三回忌	昭和三十二年
七回忌	昭和五十八年	三十七回忌	昭和二十八年
十三回忌	昭和五十二年	五十回忌	昭和十五年
十七回忌	昭和四十八年	百回忌	明治二十三年
二十三回忌	昭和四十二年		



このたびはインダクション・プロデュースのファミリー・コンピュータ用カセット「'89電脳九星占い」をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に取扱い方、使用上の注意等、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用方法でご愛用ください。
なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

〈使用上の注意〉

■ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。
■テレビ画面からできるだけ離れてゲームをしてください。
■長時間ゲームをする時は、健康のため、約2時間ごとに10分～15分の小休止をしてください。
■精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および強いショックを避けてください。また絶対に分解しないでください。
■端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにしてください。故障の原因となります。
■シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発油でふかないでください。

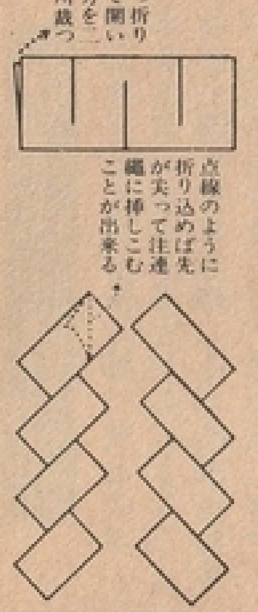
一代守本尊

○子年生の人　千手観音菩薩
○丑年生の人　虚空蔵菩薩
○寅年生の人　虚空蔵菩薩
○卯年生の人　文珠菩薩
○辰年生の人　普賢菩薩
○巳年生の人　普賢菩薩
○午年生の人　勢至菩薩
○未年生の人　大日如来
○申年生の人　大日如来
○酉年生の人　不動明王
○戌年生の人　八幡大菩薩
○亥年生の人　八幡大菩薩

神宮館謹製"一代守本尊"を一体1000円で頒布致します。生年月日・性別をご記入のうえ送料一体につき60円を添えてお申込み下さい。

紙垂の切り方

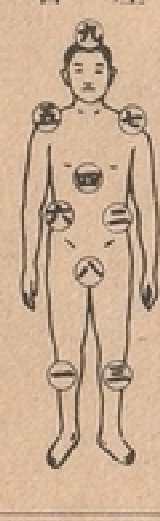
○紙垂(しで)は主連縄・玉串・輪飾りなどに垂れ下げるもので、一般に用いられる三刀四垂れ切りを図示いたします。
○用紙は奉書・美濃紙・半紙などなんでも差しつかえありません。用紙を二枚重ね、二つ折りとし、三刀四垂れに切り、それを内側に折ればでき上がります。



六三除け

●医薬の効き目がなく、うっとおしく長引きがちの病気の場合は、古来から六三にかかっていることが多いものです。
●六三にかかっているかどうかを知る法は、病気にかかった時の自分の数え年を九で割り、割り切れずに残った数でもって判断します。たとえば数え年三十一で発病した人なら、三十一を九で割ると四が残ります。そこで左図を見ますと、四は胸・腹部に当たります。もしもその人の病気が胸か腹部であれば、その人は六三にかかっているわけです。九で割り切れる時は九でもって判断いたします。
●秘法六三除け希望の方は、生年月日、病状、氏名、男女別、発病時期を記入し、祈祷料六千円を添えてお申込み下さい。祈祷を執行した上で御札をお送りします。

〒110 東京都台東区東上野二丁目一番四号
神宮館　鑑定部



○女の人は男の人と右左が逆になります
女＝㊄左肩㊅左脇腹㊀左足㊆右肩㊁右脇腹㊂右足

通信鑑定

○本年の運勢　一人に付　二万円
○家相鑑定　一件(平家)に付　三万円以上
※二・三階の場合は増額。
家相図に南・北方位を明示のこと。
○移転・建築(時期・方位)　一件一人二万円
現住所と移転先を記した一枚地図を同封、家族の生年月日を明記(一名増ごとに一万円)
○産児命名　一名に付　三万円
誕生の年・月・日・時・性別及び両親兄弟姉妹の氏名・生年月日・職業等を明記。
○改名　一名に付　三万円
○屋号・商号　一件に付　五万円
業務種別、店主名・生年月日など明記。
○会社名　一件に付　十万円
業務種別、社長名・生年月日など明記。
○縁談　一件に付　三万円
男女各々の氏名・生年月日・職業を明記。
○方災除け(旅行・転勤・移転)　八千円
犯した方位・日時・当人の生年月日明記。
○家相八方除け　八千円以上
家相図に南・北方位を明示し、家族全員の氏名・生年月日・性別を明記のこと。
○病災除け　八千円
※直接鑑定をご希望の方は、電話でご予約下さい。鑑定料は、通信鑑定の料金と異なる場合もあります。

〒110
◎東京都台東区東上野二丁目一番四号
☎〇三―八三一―一六三八番
神宮館　鑑定部　平木場　泰義

T 7